

日本の健康構造と健康寿命の動向

別府 志海・高橋 重郷

1. はじめに

日本の死亡率は戦後になって大きく低下し、年齢別死亡率の低下にともなって、1970年代後半から世界の中で最も寿命が長い国の一つとなっている。それに加えて、特に女性の平均寿命は世界の中で最長であるにもかかわらず、寿命改善テンポに鈍化の傾向がみられない。また国連の推計によれば、2010年の人口が100万人を超える国の中で、日本の平均寿命は2010～15年の男性が80.10年で長寿順位でみて第3位、女性は87.12年で第1位である。さらに、2095～100年の男性の推計値でみて88.95年で第3位、女性は95.68年で第1位（United Nations 2011；国立社会保障・人口問題研究所 2013）と推定されており、世界的にみても日本の死亡率水準は極めて低い水準が持続して行くものとみられている。将来の寿命水準の動向もさることながら、世界で最も長い平均寿命を持つ日本の女性に伸長の鈍化傾向が見られないことは、ヒトの平均寿命がどこまで伸び得るのかについて、日本国内のみならず国際的にも注目され、学術的な関心が寄せられている（堀内 2001；Bongaarts 2006；Horiuchi and Wilmoth 1998；Oeppen and Vaupel 2002；Olshansky et al. 1998；Wilmoth 1997；ウィルモス 2010）。

寿命改善の特徴についてみると、平均寿命の伸長に対する年齢別死亡率変化の寄与率は、男女とも1980年代以降になると若年齢の寄与率が2割以下へと低下し、代わって高年齢の寄与率が5割を超えるようになってきている（国立社会保障・人口問題研究所 2013）。したがって、今後の寿命動向は、中高年ないし老年層の死亡率がどこまで低下するかに左右されるだろう（別府 2012）。また現代の日本社会では、単に死亡率の低下をより進め長寿化を実現するだけでなく健康で生きられること、換言すれば健康という「生存の質」（小泉 1985）が国民の重大な関心事となってきている。健康水準に関する分野の日本における先行研究として、小泉（1985）は厚生労働省の『患者調査』から受療率、『国民生活基礎調査』から有病率を用いた「健康・生存数曲線」により分析を試みている。また齋藤（2001）は厚生労働省『国民生活基礎調査』、『社会福祉施設等調査報告』等をもとに1990年代の健康生命表を作成し、健康期間、施設等への入所期間、要介護期間等の分析を行っている。一方、山口・梯（2001）は高齢者の平均自立期間に影響を与える要因分析を行い、平均自立期間は要介護期間との関連は弱く、むしろ平均余命と共通した性質が強いこと等を示している。

これらの先行研究を参考にして、この研究では健康構造に焦点を当てた分析を、患者調査のデータに基づいて試みる。さらに、健康構造ならびに健康状態別の生存期間について、特に高年齢での死亡率が大きく低下するようになった1980年代から現在までの中長期的な動向を探るとともに、近年については傷病別の健康構造についても分析を行い、将来の死亡動向に関する示唆を得ることを目的とする。分析手法には、健康状態別の人口割合が

ら健康生命表を作成することが可能な Sullivan 法を用い、健康状態別の平均生存期間を推定する。

なお、高年齢における健康状態の研究については、日本の人口高齢化の観点から、極めて重要な課題である。すなわち、国勢調査によれば、平成 22(2010)年における 65 歳以上の高齢者人口は 2,925 万人であり、人口全体に占める同割合、すなわち高齢化率（老年人口割合ともいう）は 23.0%を示している。国立社会保障・人口問題研究所が 2012 年 1 月に公表した日本の将来推計人口（出生中位ならびに死亡中位の仮定による推計）によれば、65 歳以上人口は 2030 年に 3,685 万人に増加し、2010 年を 100 とする指数で 125%の規模へと増大し、総人口に対する割合である高齢化率は 31.6%に達すると推計されている。そして、同推計の推計最終年次である 2060 年では、65 歳以上の高齢者人口は 3,464 万人へとおよそ 200 万人減少するが、高齢化率は 39.9%に達するものと推計されている。このように、数としても割合としても人口に大きなインパクトを持つ高齢者の健康状態の動向は、日本の社会保障の仕組みや財政的な負担の観点からも、その水準と健康の改善が注目される（高橋・別府 2012）。そのような理由からこの研究では、高年齢に達する前であり、かつ受療率が上昇し始める年齢である 40 歳以上を対象に健康生命表を作成する。さらに、傷病分類別の平均健康期間を算出し、生存期間（平均余命）に対する各傷病状態が健康構造に及ぼしている影響を計測することで、特に高年齢における健康状態についての理解を深めることにしたい。

2. 受療率の年齢パターン

データ分析に入る前に、健康についての定義とデータの検討を行いたい。WHO によれば、健康とは「単に病気でなく、または弱っていないという状態ではなく、肉体的、精神的、そして社会的に、すべてが良好な状態」となっている。しかしながら、この定義を用いて国民全体の健康度を客観的に測定することは難しい。

健康の主観的な面を重視する研究では厚生労働省『国民生活基礎調査』の健康状態に関する質問項目を用いて分析しているものもあるが（小泉 1985；齋藤 2001；橋本 2012）、同調査では施設が調査対象となっていないなど、分析上の課題もある（齋藤 2001）。ところで同省『患者調査』は、全国の医療施設を利用する患者を対象とした調査であり、1984 年以降では 3 年ごとに調査が行われている¹⁾。この調査は、医療機関に受診するという客観的事実を扱っていること、施設等入所者を含む国民が対象であること等の利点を有している。そこで本研究では、健康構造を示す統計として『患者調査』における患者数を用いることとする²⁾。なお、この研究では健康状態を健康と受療状態の二区分で扱っているが、

¹⁾ 『患者調査』は、全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした調査であり、調査年 10 月中旬の 3 日間のうち医療施設ごとに定める 1 日について、入院および外来患者の受療状況等を調査する。なお、調査から得られる患者数は、いずれも推計値である。

²⁾ 『患者調査』における患者数には、健康診断の受診者や正常な分娩の患者など、必ずしも傷病を

本来の健康状態と受療状態は単一方向への状態変化ではなく、時間軸や年齢軸の経過とともに絶えず状態間を遷移して行くものである。さらに、健康と受療状態から人の死亡が発生するものであり、健康状態から受療状態、そして死亡へは連続的な変化であることに留意する必要がある。

1980年代から現在までの日本社会の健康状態を表す指標として、年齢別人口1,000あたりの患者数、すなわち受療率を概ね10年おきに示したのが図1である。なお、ここで示した率は個票データの二次利用により再集計³⁾を行った上で、男女・年齢各歳データの偶然変動を平滑化したモデルデータ⁴⁾のものである。また、『患者調査』による観察値とモデル値との比較については参考図1～3に掲げている。

図1をみると、いずれの年次とも受療率は年齢に大きく依存していることが分かる。すなわち60歳を過ぎる頃から徐々に年齢の増加に伴って受療率は上昇し、70歳を超えると入院の受療率が急激に高くなる傾向が見出される。入院についてみると、受療率が大きく上昇する年齢は1984～90年では70歳頃から上昇しているが、1999年では75歳頃から、2008年では80歳頃から大きく上昇するようになっており、近年になるほど高年齢へ移行してきている。一方で高年齢における受療率の水準をみると、80歳時点において1984年では男性が59%、女性が69%であったのが、2008年では男女とも42～43%へと低下しており、同一年齢で時系列比較すると低下傾向が観察される。

一方、外来の受療率も高年齢になるほど上昇する傾向は概ね同じだが、80歳前後を過ぎると逆に低下に転じている。また、高年齢での受療率を時系列で比較すると、例えば80歳の受療率は男女とも、1984年の130%前後から2008年の110%へと低下している。

入院の受療率と外来の受療率を比較すると、特に80歳以上の高年齢で傾向が異なっている。入院の受療率は、1984年を除いて高年齢ほど受療率が高くなる傾向であるのに対し、外来の受療率は、80歳前後の年齢まで高くなるものの、そこからさらに高年齢になると逆に受療率は低下している。このことから、80歳頃までは外来だった患者が、その年齢を過ぎると入院へ転じるというパターンの存在が示唆される。

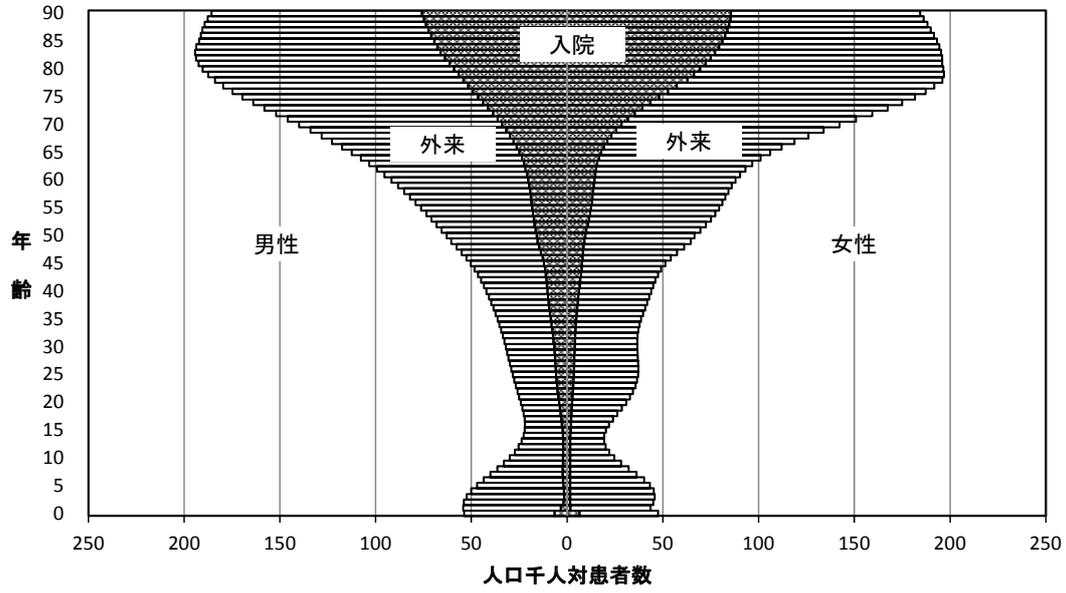
患っていない患者も含まれている。そこで傷病大分類における以下の項目は健康状態と考え、患者数から除外して集計を行った。：「眼及び付属器の疾患」「耳及び乳様突起の疾患」「妊娠、分娩及び産じょく」「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」。

³⁾ 統計法第32条の規定に基づくデータの提供を受けている（提供通知文書番号：平成24年11月5日付統発第1105第1号）。

⁴⁾ 男女・年齢別の受療率数値モデルは、多項式回帰ならびに年齢各歳データのカーブ・フィッティングによって近似化している。

図1. 患者調査からモデル化した入院・外来別受療率

(1) 1984年



(2) 1990年

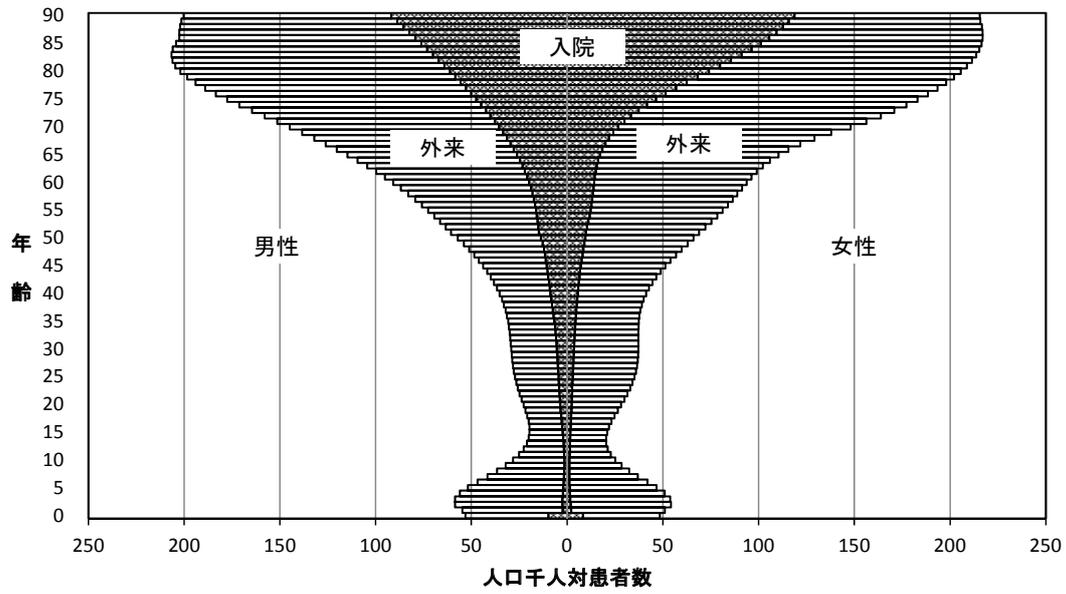
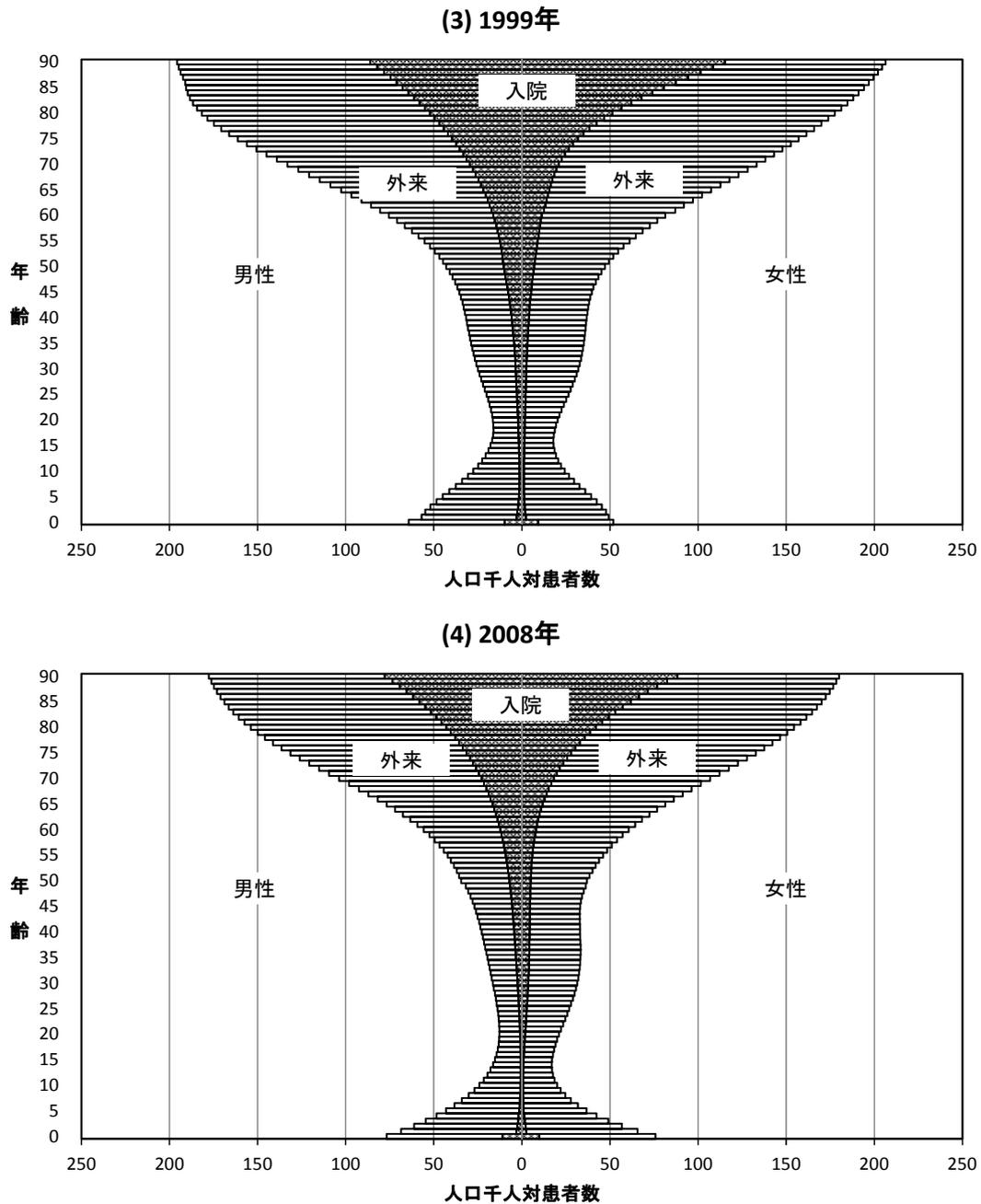


図1. 患者調査からモデル化した入院・外来別受療率（つづき）



厚生労働省『患者調査』に基づき算出。

以上の結果は、次のようにまとめられるだろう。第一に、高年齢における受療率の年齢パターンは、近年になるにつれて高年齢方向へシフトしており、同じ年齢の受療率を時系列比較すると低下傾向がみられた。第二に、80歳以上の高年齢では、入院受療率は急上昇する一方で外来受療率は逆に低下していた。さらに高年齢における受療率は、60歳前後で主に外来の受療率が上昇し、80歳以上では主に入院の受療率が上昇していた。高齢者が受療状態へと多くの人々が移行するようになる年齢上の変曲点が、大きく分けてこの2つ年

齢の段階にあるとみることができる。

3. 健康寿命の動向

3-1) 平均健康期間・平均受療期間の動向

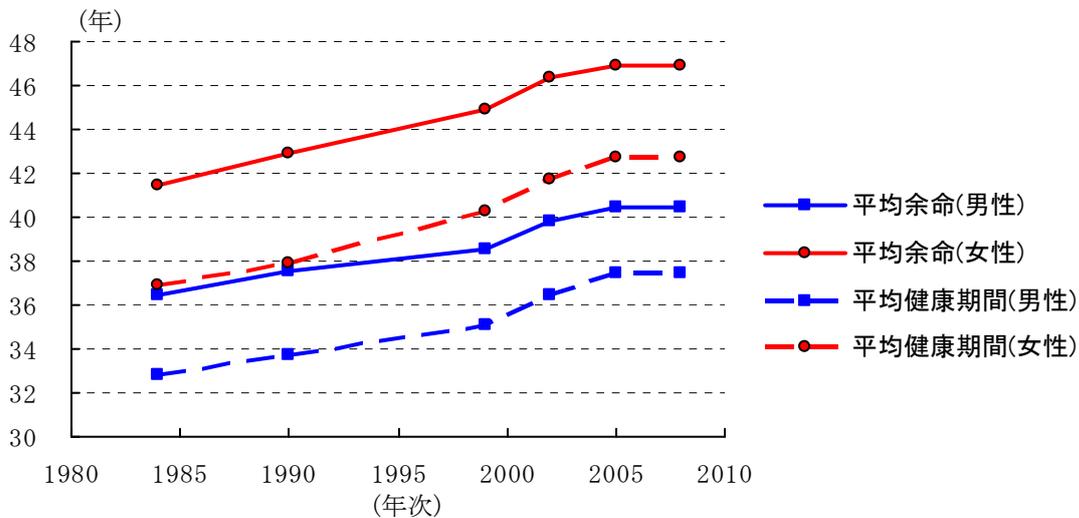
前章では健康状態を入院と外来に大別し、それぞれの受療率の年齢パターンについて概観した。本章では、こうした受療のパターンから導き出される健康状態で過ごす期間すなわち平均健康期間と、外来や入院により受療状態で過ごす期間すなわち平均受療期間がどの程度の長さ、すなわち平均余命である生存時間年数に対して、通院状態あるいは入院期間を除いた生存時間年数を分析したい。この平均健康期間、平均受療期間を算出するためには、健康生命表を作成する必要がある。健康生命表の作成方法にはいくつかの手法が存在するが、この研究では既存の生命表と健康状態に関する統計から比較的簡便に作成が可能な Sullivan 法を用いて作成している。この方法は、別途作成された生命表と健康状態別人口割合から健康状態別の定常人口および余命を算出するものである (Sullivan 1971 ; 齋藤 2001)。なお、この研究では通院や入院をしていない状態を「健康」として定義し用いる。したがって、平均健康期間とはある年齢から死亡するまでの間 (=平均余命) に健康状態でいられる平均年数を意味し、平均受療期間は同じく傷病により通院や入院している平均年数を示す。

前章で示した各受療率と各年の生命表を用い、前述の Sullivan 法により入院および外来別の平均受療期間を求めた結果を表 1 に、40 歳時の平均余命および平均健康期間の推移を図 2 に示す。なお、平均余命、平均健康期間とともに表章したものを参考表 1 に掲げた⁵⁾。

図 2 をみると、40 歳時における平均余命は男性が 1984 年の 36.47 年から 2008 年の 40.49 年へ 4.02 年、女性が 1984 年の 41.46 年から 2008 年の 46.89 年へ 5.43 年伸びているのに対し、同年齢の平均健康期間は、男性が 1984 年の 32.82 年から 2008 年の 37.41 年へ 4.59 年、女性が 1984 年の 36.94 年から 2008 年の 42.69 年へ 5.75 年伸びている。他方で平均余命と平均健康期間の差、つまり平均受療期間は、男性が 1984 年の 3.65 年から 2008 年の 3.08 年へ 0.57 年、女性が 1984 年の 4.53 から 2008 年の 4.20 年へ 0.33 年それぞれ短縮している。これら平均余命の伸長、受療率曲線の高年齢化、平均受療期間の短縮は、Fries が指摘する「疾病の圧縮 compression of morbidity」を示しているといえるだろう (Fries 1980)。またこれらの結果は、世代的にみた健康度が改善されているという老年医科学の研究 (鈴木 2012) とも整合的である。

⁵⁾ 厚生労働省『国民生活基礎調査』および『社会福祉施設等調査報告』等をもとに Sullivan 法により 1990 年代の健康生命表を作成している齋藤 (2001) と比較すると、特に高年齢において、今回作成した平均健康期間が長くなる傾向が見られる。この理由としては、齋藤 (2001) が調査の対象者の自己申告に基づくこと、施設入所を健康状態とは別途扱っていること等が考えられる。

図2. 40歳時における平均余命および平均健康期間：1984～2008年



厚生労働省『簡易生命表』『患者調査』に基づき算出。

表1. 入院・外来別平均受療期間：1984～2008年

年齢	平均受療期間				入院				外来			
	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年
男性												
40	3.65	3.82	3.51	3.08	0.96	1.01	0.90	0.81	2.69	2.81	2.61	2.27
45	3.47	3.66	3.37	2.98	0.91	0.98	0.88	0.79	2.56	2.69	2.50	2.19
50	3.26	3.47	3.23	2.87	0.86	0.93	0.84	0.77	2.40	2.54	2.39	2.10
55	3.02	3.24	3.08	2.74	0.80	0.88	0.81	0.75	2.21	2.36	2.27	1.99
60	2.74	2.98	2.87	2.59	0.74	0.83	0.77	0.72	2.00	2.15	2.10	1.87
65	2.42	2.67	2.61	2.40	0.68	0.77	0.72	0.69	1.74	1.90	1.88	1.71
70	2.05	2.29	2.27	2.13	0.61	0.70	0.66	0.64	1.44	1.59	1.60	1.49
75	1.64	1.85	1.86	1.79	0.53	0.61	0.59	0.58	1.11	1.24	1.27	1.21
80	1.23	1.39	1.42	1.42	0.43	0.51	0.51	0.52	0.80	0.88	0.91	0.90
85	0.87	0.97	1.04	1.08	0.34	0.41	0.43	0.46	0.53	0.55	0.60	0.62
90+	0.59	0.65	0.74	0.79	0.25	0.32	0.36	0.40	0.33	0.33	0.38	0.39
女性												
40	4.53	4.99	4.71	4.20	1.10	1.29	1.20	1.11	3.43	3.70	3.51	3.09
45	4.32	4.79	4.55	4.06	1.07	1.27	1.19	1.09	3.25	3.52	3.36	2.96
50	4.08	4.54	4.37	3.91	1.04	1.24	1.17	1.08	3.04	3.31	3.20	2.83
55	3.77	4.24	4.16	3.75	1.00	1.20	1.14	1.06	2.77	3.04	3.02	2.68
60	3.44	3.88	3.88	3.54	0.96	1.15	1.11	1.04	2.48	2.73	2.77	2.50
65	3.08	3.49	3.52	3.27	0.91	1.11	1.07	1.02	2.17	2.38	2.44	2.25
70	2.65	3.03	3.06	2.91	0.86	1.06	1.03	0.98	1.79	1.97	2.03	1.93
75	2.10	2.45	2.53	2.46	0.77	0.98	0.97	0.92	1.34	1.47	1.56	1.54
80	1.51	1.83	1.98	1.96	0.62	0.85	0.89	0.84	0.89	0.98	1.09	1.12
85	1.02	1.27	1.47	1.47	0.45	0.67	0.78	0.74	0.56	0.61	0.69	0.73
90+	0.65	0.82	1.05	1.05	0.30	0.47	0.64	0.63	0.35	0.35	0.41	0.42

厚生労働省『簡易生命表』『患者調査』に基づき算出。

前述のように平均受療期間は男女とも、60歳代までは最近になるほど短くなる傾向が見られるものの、70歳を超えるあたりからは逆に、最近になるほど長くなっている。これを入院・外来別にみると（表1）、入院の場合は40～50歳代といった比較的若い年齢ほど入院期間が短縮する傾向にあるが、60歳代以上では反対に延びている。特に90歳以上で

は1984～2008年の期間に男性は0.15年、女性は0.33年、それぞれ延びている。外来の場合も、基本的な傾向は入院の場合と同様である。ただし、高年齢での外来期間は同年齢層の入院期間ほど大きく延びていない。これは前掲図1で見たように、高年齢では外来の受療率が低下する一方で入院の受療率が上昇しているためと考えられる。

さて、平均健康期間・平均受療期間は、これら期間の長さ自体も重要な意味を持つが、他方で平均余命に占めるそれぞれの割合という視点も重要である（齋藤 2001）。そこで、ある年齢の平均余命に対し、入院・外来別の受療期間がどの程度の割合あるかを表2に示す。

表2. 平均余命に占める平均受療期間の割合：1984～2008年

(%)

年齢	平均受療期間の割合				入院				外来			
	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年
男性												
40	10.0	10.2	9.1	7.6	2.6	2.7	2.3	2.0	7.4	7.5	6.8	5.6
45	10.9	11.1	10.0	8.3	2.9	3.0	2.6	2.2	8.0	8.2	7.4	6.1
50	11.9	12.3	11.0	9.2	3.1	3.3	2.9	2.5	8.7	9.0	8.1	6.7
55	13.0	13.5	12.3	10.2	3.5	3.7	3.2	2.8	9.5	9.9	9.0	7.4
60	14.2	14.9	13.7	11.5	3.9	4.2	3.7	3.2	10.4	10.8	10.1	8.3
65	15.7	16.5	15.3	12.9	4.4	4.8	4.2	3.7	11.3	11.8	11.1	9.2
70	17.2	18.2	16.8	14.3	5.2	5.5	4.9	4.3	12.0	12.6	11.9	10.0
75	18.5	19.6	18.1	15.7	6.0	6.4	5.8	5.1	12.5	13.2	12.3	10.6
80	19.1	20.3	18.9	16.8	6.7	7.4	6.8	6.1	12.3	12.8	12.1	10.6
85	18.8	20.0	19.3	17.5	7.3	8.6	8.1	7.5	11.4	11.5	11.3	10.1
90+	17.9	19.4	19.6	18.0	7.7	9.6	9.5	9.1	10.2	9.8	10.1	8.9
女性												
40	10.9	11.6	10.5	9.0	2.7	3.0	2.7	2.4	8.3	8.6	7.8	6.6
45	11.8	12.6	11.3	9.6	2.9	3.3	3.0	2.6	8.9	9.2	8.4	7.0
50	12.7	13.6	12.3	10.5	3.3	3.7	3.3	2.9	9.5	9.9	9.0	7.6
55	13.7	14.7	13.5	11.5	3.7	4.2	3.7	3.2	10.1	10.6	9.8	8.2
60	14.9	16.0	14.8	12.6	4.2	4.8	4.2	3.7	10.8	11.2	10.5	8.9
65	16.5	17.5	16.1	13.8	4.9	5.6	4.9	4.3	11.6	11.9	11.2	9.5
70	18.1	19.2	17.3	15.1	5.9	6.7	5.8	5.1	12.2	12.5	11.5	10.0
75	19.1	20.5	18.5	16.2	7.0	8.2	7.1	6.1	12.2	12.3	11.4	10.1
80	19.2	21.3	19.5	17.1	7.9	9.9	8.8	7.3	11.3	11.4	10.7	9.8
85	18.7	21.6	20.3	17.9	8.4	11.3	10.8	9.0	10.4	10.3	9.5	8.9
90+	18.1	21.4	20.8	18.4	8.5	12.2	12.8	11.0	9.7	9.2	8.1	7.4

厚生労働省『簡易生命表』『患者調査』に基づき算出。

平均余命に占める平均受療期間の割合は概して高年齢ほど高くなっており、男女とも40歳代では平均余命の1割程度であるが、80歳以上では約2割が受療状態と、40歳代の約2倍にのぼる。入院・外来別にみると、入院の場合の平均受療期間割合は男女とも40歳代では平均余命の2～3%に過ぎないが、70歳前後で急激に大きくなり、90歳以上では10%前後に及んでいる。こうした水準とパターンはいずれの年次でも観察されるが、近年になるほど40～50歳代の平均受療期間割合は小さく、高年齢での平均受療期間割合は大きくなってきている。

一方の外来の場合も、加齢とともに平均余命に占める平均受療期間の割合が大きくなる傾向は共通して見られるが、80歳以上になると逆に平均受療期間割合が低下している。こ

れは前述の様に高年齢における受療率の低下が影響しているだろう。また 1984～2008 年の時系列変化をみると、いずれの年齢も概して縮小傾向にあり、高年齢では拡大している入院の平均受療期間割合とはこの点も異なっている。

3-2) 傷病状態からみた平均健康期間・平均受療期間の動向

前節までは、健康状態を大きく入院状態と外来状態からのみ捕らえてきた。本節では受療状態についてより詳細に分析を行うため、傷病分類別に観察を行う。

さて、この研究で用いている患者調査からは、疾病の状態に関するデータが得られる。この傷病分類は、世界保健機関 (WHO) の「国際疾病、傷害および死因統計分類 (ICD)」に基づき分類されている。ICD は約 10 年ごとに改訂されているが、改訂されてしまうと、改訂前の分類へ組み替えることが出来ない。このため、ICD を用いた時系列分析では、改訂を挟んでしまうと厳密な時系列比較は行えなくなってしまう。そこでこの章では「第 10 回修正国際疾病、傷害および死因統計分類 (ICD-10)」に切り替わった後の 1999～2008 年について、傷病大分類に基づき観察したい。

はじめに、入院と外来を合わせた平均受療期間ならびに傷病分類別の平均受療期間割合を表 3 に示す。なお、1999 年以降について 5 歳階級別に表章したものは参考表 2 に掲げた。

表 3. 特定年齢における平均受療期間と傷病分類別平均受療期間割合：1999, 2008 年

平均受療期間, 傷病大分類	40歳時				65歳時				80歳時			
	男性		女性		男性		女性		男性		女性	
	1999年	2008年										
平均受療期間	3.51	3.08	4.71	4.20	2.61	2.40	3.52	3.27	1.42	1.42	1.98	1.96
感染症及び寄生虫症	3.4	2.8	2.4	2.4	3.0	2.5	2.1	2.1	2.3	2.1	1.4	1.5
新生物	7.0	7.7	4.6	5.0	8.0	8.4	4.1	4.1	7.3	7.4	3.4	3.3
(悪性新生物)	5.8	6.9	3.4	3.8	6.7	7.7	3.3	3.4	6.2	6.8	2.9	2.8
内分泌, 栄養及び代謝疾患並びに免疫障害	5.8	6.4	6.3	6.4	5.2	5.7	6.0	6.2	4.0	4.0	4.4	4.7
傷病分類別割合												
血液及び造血器の疾患	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3
精神及び行動の障害	7.0	7.8	6.6	7.2	4.4	4.9	6.0	6.0	4.3	4.0	7.2	6.2
神経系及び感覚器の疾患	2.5	3.6	2.8	4.1	2.6	3.8	2.9	4.5	2.8	4.6	3.0	5.6
循環器系の疾患	24.6	22.3	27.8	22.9	29.2	25.3	33.8	26.9	34.9	28.3	42.1	32.5
(脳血管疾患)	7.9	6.8	8.7	6.8	10.3	8.4	11.7	8.7	14.9	11.0	18.3	12.8
(高血圧性心疾患)	10.5	10.1	13.6	11.9	11.4	10.6	15.3	13.2	10.8	9.8	14.7	13.0
(心疾患(高血圧性を除く))	4.8	4.2	4.7	3.5	5.9	5.0	6.1	4.4	7.8	6.2	8.2	6.1
呼吸器系の疾患	7.2	6.7	5.6	5.5	7.5	6.9	4.8	4.7	8.5	9.2	4.6	5.1
消化器系の疾患	16.3	16.6	13.9	15.6	12.2	13.1	9.9	11.2	8.2	9.1	6.3	7.6
(歯及び歯の支持組織の疾患)	8.5	10.6	7.9	10.5	5.0	7.3	3.9	6.2	2.3	3.5	1.2	3.0
皮膚及び皮下組織の疾患	2.7	2.8	2.1	2.5	2.4	2.4	1.6	1.9	2.4	2.2	1.3	1.7
筋骨格系及び結合組織の疾患	13.3	14.5	18.4	18.9	15.1	15.5	20.3	20.0	14.0	14.5	15.8	15.8
損傷及び中毒	5.0	5.2	5.2	6.2	4.0	4.3	5.2	6.3	4.4	4.8	6.3	7.5

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。割合は平均受療期間に対して。()は再掲。

男女ともに平均受療期間に占める割合が 10% を超える高い傷病は、循環器系の疾患、消化器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患であり、この 3 つで平均受療期間の半分以上を占めている。循環器系の疾患では高血圧性疾患がほぼ全ての年次・年齢で 10% 以上であるほか、脳血管疾患は 40 歳時では割合が低いものの高年齢ほど高くなっており、80 歳時では 11～18% と 10% を超えている。

男女を比べると、男性が高い傾向があるのは新生物、呼吸器系の疾患であり、逆に女性が高い傾向があるのは筋骨格系及び結合組織の疾患、ならびに 65 歳以上での循環器系の疾患である。65 歳以上での循環器系の疾患は、高血圧性疾患で男女差が大きい。

表 4. 入院・外来別、特定年齢における平均受療期間と同期間に占める傷病分類別割合：1999、2008 年

		40歳時				65歳時				80歳時			
		男性		女性		男性		女性		男性		女性	
平均受療期間、傷病大分類		1999年	2008年										
(年, %)													
入院													
平均受療期間		0.90	0.81	1.20	1.11	0.72	0.69	1.07	1.02	0.51	0.52	0.89	0.84
傷病分類別割合	感染症及び寄生虫症	2.9	2.0	1.7	1.4	2.9	2.1	1.7	1.4	2.9	2.4	1.5	1.4
	新生物	14.7	14.1	8.8	7.7	15.7	14.3	7.3	6.5	11.5	10.4	5.0	4.6
	(悪性新生物)	12.6	13.1	7.1	6.7	13.6	13.4	6.1	5.7	10.1	9.6	4.3	4.1
	内分泌、栄養及び代謝疾患並びに免疫障害	3.3	2.6	3.8	2.8	3.1	2.5	3.9	2.9	2.9	2.5	3.6	3.0
	血液及び造血器の疾患	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	0.6	0.5	0.5	0.5
	精神及び行動の障害	20.8	20.0	17.8	16.8	11.6	13.0	13.6	13.2	8.4	8.0	11.3	10.3
	神経系及び感覚器の疾患	3.9	6.5	4.6	7.8	3.9	6.8	4.6	8.0	3.9	7.2	4.1	8.2
	循環器系の疾患	25.1	22.2	33.2	25.1	30.3	25.4	37.8	27.6	37.1	28.7	43.9	32.3
	(脳血管疾患)	17.5	15.7	22.8	17.9	21.3	18.0	25.9	19.7	26.3	20.2	29.9	22.9
	(高血圧性心疾患)	1.2	0.5	3.1	1.1	1.5	0.6	3.6	1.3	2.2	0.8	4.5	1.7
	(心疾患(高血圧性を除く))	5.1	4.9	6.6	5.3	6.1	5.5	7.6	5.8	7.4	6.6	8.9	7.0
	呼吸器系の疾患	6.5	8.5	4.3	5.6	8.4	10.7	4.7	6.2	11.0	15.0	5.2	7.6
	消化器系の疾患	6.6	5.7	4.7	4.0	6.1	5.4	4.7	3.9	5.5	5.1	4.2	3.8
	(歯及び歯の支持組織の疾患)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚及び皮下組織の疾患	0.5	0.9	0.5	0.9	0.6	0.9	0.5	1.0	0.7	1.0	0.5	1.1	
筋骨格系及び結合組織の疾患	3.6	3.5	6.9	6.0	3.5	3.6	7.1	6.1	3.5	3.6	6.3	5.5	
損傷及び中毒	6.8	7.1	9.4	10.9	6.2	7.0	9.9	11.7	6.7	7.8	10.3	12.8	
外来													
平均受療期間		2.61	2.27	3.51	3.09	1.88	1.71	2.44	2.25	0.91	0.90	1.09	1.12
傷病分類別割合	感染症及び寄生虫症	3.5	3.1	2.7	2.7	3.1	2.7	2.3	2.4	1.9	2.0	1.4	1.6
	新生物	4.4	5.4	3.2	4.0	5.1	6.0	2.7	3.0	4.9	5.6	2.2	2.3
	(悪性新生物)	3.4	4.7	2.2	2.7	4.1	5.4	2.0	2.4	4.0	5.1	1.8	1.9
	内分泌、栄養及び代謝疾患並びに免疫障害	6.7	7.7	7.1	7.7	6.0	6.9	7.0	7.7	4.6	4.8	5.0	5.9
	血液及び造血器の疾患	0.3	0.2	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3
	精神及び行動の障害	2.2	3.5	2.7	3.7	1.6	1.7	2.6	2.8	2.0	1.7	3.9	3.2
	神経系及び感覚器の疾患	2.0	2.6	2.1	2.7	2.1	2.6	2.1	2.9	2.1	3.1	2.0	3.7
	循環器系の疾患	24.4	22.3	26.0	22.1	28.8	25.2	32.0	26.6	33.7	28.1	40.6	32.7
	(脳血管疾患)	4.6	3.6	3.9	2.8	6.1	4.5	5.4	3.7	8.6	5.7	8.9	5.2
	(高血圧性心疾患)	13.7	13.5	17.3	15.7	15.1	14.6	20.4	18.6	15.7	15.0	23.0	21.5
	(心疾患(高血圧性を除く))	4.7	4.0	4.1	2.9	5.9	4.8	5.4	3.7	8.0	6.1	7.7	5.4
	呼吸器系の疾患	7.5	6.0	6.1	5.4	7.1	5.4	4.8	4.1	7.1	5.8	4.1	3.2
	消化器系の疾患	19.6	20.5	17.0	19.8	14.6	16.2	12.2	14.5	9.7	11.5	8.0	10.4
	(歯及び歯の支持組織の疾患)	11.4	14.4	10.5	14.3	7.0	10.2	5.6	9.1	3.5	5.4	2.2	5.3
皮膚及び皮下組織の疾患	3.4	3.5	2.7	3.1	3.1	3.0	2.1	2.4	3.3	2.9	1.9	2.2	
筋骨格系及び結合組織の疾患	16.6	18.4	22.3	23.5	19.5	20.3	26.1	26.3	19.9	20.7	23.5	23.4	
損傷及び中毒	4.3	4.6	3.8	4.4	3.2	3.2	3.2	3.8	3.0	3.0	3.0	3.6	

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。割合は平均受療期間に対して。()は再掲。

さらに、平均受療期間の傷病分類別割合を入院・外来別に観察しよう(表4)。はじめに入院についてみると、平均受療期間に占める割合が10%を超える高い傷病は、新生物(男性のみ)、精神及び行動の障害、循環器系の疾患、損傷及び中毒(女性のみ)、80歳時における呼吸器系の疾患(男性のみ)となっている。新生物は、そのほとんどが悪性新生物であり、循環器系の疾患の中心は脳血管疾患である。これを全体(前掲表3)と比べると、精神及び行動の障害の割合が10%を超えていること、全体では高血圧精神疾患の割合が高いが入院では脳血管疾患の割合が高いことが特徴としてあげられよう。男女で比べると、男性が高くなっているのは新生物、精神及び行動の障害、呼吸器系の疾患、消化器系の疾

患であり、逆に女性が高くなっているのは循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患、損傷及び中毒である。男女に共通した特徴として、循環器系の疾患は高年齢ほど平均受療期間に占める割合が高くなることであり、その大部分は脳血管疾患である。

次に外来についてみると、平均受療期間に占める割合が10%を超える傷病は、循環器系の疾患、消化器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患となっている。循環器系の疾患は主に高血圧性心疾患が中心であり、消化器系の疾患は歯及び歯の支持組織の疾患が多い。男女で比べると、男性が高くなっているのは新生物、呼吸器系の疾患であり、逆に女性が高くなっているのは循環器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患である。男女に共通した特徴として、循環器系の疾患は高年齢ほど平均受療期間に占める割合が高くなることであり、その多くが高血圧性心疾患である。

入院と外来を比較すると、入院で特に多くなっている傷病は新生物、精神及び行動の障害、脳血管疾患であり、反対に外来が多くなる傷病は高血圧性心疾患、消化器系の疾患、筋骨格系及び結合組織の疾患となっている。

ここまで行った平均受療期間に関する分析をまとめると、以下ようになる。第一に、時系列で見ると平均余命が伸びている中で平均受療期間は短縮傾向にあった。その一方で、平均余命に占める平均受療期間の割合は概して高年齢ほど高くなっていた。第二に、平均受療期間に占める割合を傷病分類別に求めた結果、男女、入院・外来とも循環器系の疾患は2割以上を占めており、さらに、高年齢ほど割合を増していた。ただし、入院と外来では循環器系の疾患の中身が異なっており、入院では脳血管疾患、外来では高血圧性心疾患が中心であった。また、循環器系の疾患に次ぐ傷病は、入院は精神及び行動の障害、外来は筋骨格系及び結合組織の疾患であり、高年齢での入院は主に脳および精神に関するものが多く、外来は主に高血圧および外科的な傷病が多いといえるだろう。

このように、概して循環器系の疾患は受療状態に留まる期間が長期に及ぶものが多く、平均受療期間に占める割合も大きい。したがって、特に循環器系の疾患を予防・回避できるようにするか否かは、平均受療期間を短縮させていく上で重要な鍵となるだろう。

4. まとめと今後の課題

この研究では、1980年代以降における平均寿命の伸長に対する寄与率が高い高年齢について、健康構造の視点から死亡率低下の背景を探ることを目的として『患者調査』データの再集計を行い、入院・外来別に年齢別受療率、傷病分類別の平均受療期間について分析し、以下のことが明らかとなった。

はじめに年齢別受療率の分析からは、高年齢における受療率の年齢パターンは近年になるにつれて高年齢方向へシフトしており、同じ年齢で時系列比較すると低下傾向が観察された。また、受療率の年齢パターンをみると外来の受療率は60歳前後、入院の受療率は80歳前後で大きく上昇しており、高齢者が疾患を抱えて受療状態へ移行する年齢層は大きくこの2つの段階があるといえる。

第二に、時系列で見ると平均余命が伸びている中で平均受療期間は短縮傾向にあった。その一方で、平均余命に占める受療期間の割合は概して高年齢ほど高く、90歳以上では平均余命に対する割合にほとんど変化はなかった。

第三に、平均受療期間に占める割合を傷病分類別に求めた結果、男女、入院・外来とも循環器系の疾患は2割以上を占めており、さらに、高年齢ほど割合を増していた。循環器系の疾患は入院・外来で異なり、入院では主に脳血管疾患、外来では主に高血圧性心疾患であった。これらの傷病のうち、高血圧性心疾患はこれを直接の死因とする死亡率はあまり高くないものの、高血圧性心疾患を患っていると脳血管疾患や虚血性心疾患、腎臓の疾患等を合併しやすくなる。脳血管疾患は入院期間が長い上に死亡率も高い。したがって、これらの疾患を予防することは、単に生存期間を延ばすのみならず、平均健康期間を延ばすことにもなると考えられる。

最後に、本研究に残されているいくつかの課題について言及したい。課題の第一は、健康の定義とデータについてである。今回の分析では医療施設の入院患者数・受診者数ならびにそれぞれの傷病をデータとして用いたが、疾病の程度という健康状態の「質」は考慮されていない。また、傷病分類についても大分類のみの扱いに留まったが、大分類による健康の定義は必ずしも最善ではないだろう。より詳細な区分による観察・健康の再定義が必要であろう。課題の第二として、死亡率との関連がある。本研究で用いている患者調査の傷病分類と死亡統計である人口動態統計の死因分類は、いずれもWHOのICDを基準としていることから、同一の分類による分析が可能である。この長所を生かし、健康状態と死亡率との関係について、より詳細な分析を行うことが課題として残されている。

参考表 1. 平均余命, 平均健康期間ならびに平均受療期間 : 1984~2008 年

年齢	平均余命			平均健康期間			平均受療期間			入院			外来							
	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年	1984年	1990年	1999年	2008年				
男性																				
40	36.47	37.52	38.56	40.49	32.82	33.70	35.05	37.41	3.65	3.82	3.51	3.08	0.96	1.01	0.90	0.81	2.69	2.81	2.61	2.27
45	31.88	32.85	33.89	35.79	28.41	29.19	30.51	32.81	3.47	3.66	3.37	2.98	0.91	0.98	0.88	0.79	2.56	2.69	2.50	2.19
50	27.44	28.33	29.37	31.21	24.18	24.86	26.13	28.34	3.26	3.47	3.23	2.87	0.86	0.93	0.84	0.77	2.40	2.54	2.39	2.10
55	23.26	23.99	25.04	26.79	20.24	20.75	21.97	24.05	3.02	3.24	3.08	2.74	0.80	0.88	0.81	0.75	2.21	2.36	2.27	1.99
60	19.24	19.95	20.91	22.58	16.50	16.97	18.03	19.99	2.74	2.98	2.87	2.59	0.74	0.83	0.77	0.72	2.00	2.15	2.10	1.87
65	15.43	16.16	17.02	18.60	13.01	13.48	14.41	16.21	2.42	2.67	2.61	2.40	0.68	0.77	0.72	0.69	1.74	1.90	1.88	1.71
70	11.93	12.60	13.48	14.84	9.88	10.31	11.21	12.71	2.05	2.29	2.27	2.13	0.61	0.70	0.66	0.64	1.44	1.59	1.60	1.49
75	8.89	9.44	10.28	11.40	7.25	7.59	8.42	9.61	1.64	1.85	1.86	1.79	0.53	0.61	0.59	0.58	1.11	1.24	1.27	1.21
80	6.47	6.82	7.53	8.49	5.24	5.44	6.11	7.06	1.23	1.39	1.42	1.42	0.43	0.51	0.51	0.52	0.80	0.88	0.91	0.90
85	4.63	4.82	5.36	6.13	3.76	3.86	4.33	5.06	0.87	0.97	1.04	1.08	0.34	0.41	0.43	0.46	0.53	0.55	0.60	0.62
90+	3.27	3.34	3.76	4.36	2.68	2.69	3.03	3.57	0.59	0.65	0.74	0.79	0.25	0.32	0.36	0.40	0.33	0.33	0.38	0.39
女性																				
40	41.46	42.90	44.95	46.89	36.94	37.91	40.23	42.69	4.53	4.99	4.71	4.20	1.10	1.29	1.20	1.11	3.43	3.70	3.51	3.09
45	36.71	38.12	40.15	42.08	32.38	33.33	35.60	38.03	4.32	4.79	4.55	4.06	1.07	1.27	1.19	1.09	3.25	3.52	3.36	2.96
50	32.04	33.41	35.43	37.34	27.96	28.87	31.06	33.43	4.08	4.54	4.37	3.91	1.04	1.24	1.17	1.08	3.04	3.31	3.20	2.83
55	27.47	28.80	30.82	32.69	23.69	24.56	26.66	28.94	3.77	4.24	4.16	3.75	1.00	1.20	1.14	1.06	2.77	3.04	3.02	2.68
60	23.00	24.29	26.29	28.12	19.56	20.41	22.41	24.57	3.44	3.88	3.88	3.54	0.96	1.15	1.11	1.04	2.48	2.73	2.77	2.50
65	18.71	19.92	21.89	23.64	15.63	16.43	18.37	20.37	3.08	3.49	3.52	3.27	0.91	1.11	1.07	1.02	2.17	2.38	2.44	2.25
70	14.67	15.76	17.67	19.29	12.02	12.73	14.61	16.38	2.65	3.03	3.06	2.91	0.86	1.06	1.03	0.98	1.79	1.97	2.03	1.93
75	11.00	11.95	13.71	15.18	8.90	9.50	11.18	12.72	2.10	2.45	2.53	2.46	0.77	0.98	0.97	0.92	1.34	1.47	1.56	1.54
80	7.89	8.60	10.18	11.43	6.38	6.77	8.20	9.47	1.51	1.83	1.98	1.96	0.62	0.85	0.89	0.84	0.89	0.98	1.09	1.12
85	5.43	5.90	7.26	8.21	4.41	4.63	5.78	6.74	1.02	1.27	1.47	1.47	0.45	0.67	0.78	0.74	0.56	0.61	0.69	0.73
90+	3.58	3.85	5.05	5.71	2.93	3.03	4.00	4.66	0.65	0.82	1.05	1.05	0.30	0.47	0.64	0.63	0.35	0.35	0.41	0.42

厚生労働省『簡易生命表』『患者調査』に基づき算出。

参考表 2. 平均余命, 平均健康期間および傷病分類別平均受療期間: 1999~2008 年

(1) 1999年, 2002年

年齢	平均余命	平均健康期間	平均受療期間	感染症及び寄生虫症	新生物	(悪性)新生物	内分泌, 栄養及び代謝疾患並びに免疫障害	血液及び造血器の疾患	精神及び行動の障害	神経系及び感覚器の疾患	循環器系の疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心疾患)	(心疾患(高血圧性を除く))	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	(骨及び軟骨)支持組織の疾患	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	損傷及び中毒
1999年																				
男性																				
40	38.56	35.05	3.51	0.12	0.25	0.20	0.20	0.01	0.24	0.09	0.86	0.28	0.37	0.17	0.25	0.57	0.30	0.09	0.47	0.17
45	33.89	30.51	3.37	0.11	0.25	0.20	0.20	0.01	0.22	0.08	0.86	0.28	0.37	0.17	0.24	0.53	0.27	0.09	0.46	0.16
50	29.37	26.13	3.23	0.11	0.24	0.20	0.19	0.01	0.20	0.08	0.85	0.28	0.36	0.17	0.23	0.48	0.24	0.08	0.45	0.15
55	25.04	21.97	3.08	0.10	0.24	0.20	0.18	0.01	0.17	0.08	0.83	0.28	0.34	0.16	0.22	0.43	0.20	0.08	0.43	0.14
60	20.91	18.03	2.87	0.09	0.23	0.19	0.16	0.01	0.14	0.07	0.81	0.28	0.32	0.16	0.21	0.38	0.17	0.07	0.42	0.11
65	17.02	14.41	2.61	0.08	0.21	0.18	0.14	0.01	0.11	0.07	0.76	0.27	0.30	0.15	0.19	0.32	0.13	0.06	0.39	0.11
70	13.48	11.21	2.27	0.06	0.18	0.15	0.11	0.01	0.09	0.06	0.70	0.26	0.26	0.14	0.18	0.25	0.10	0.05	0.36	0.09
75	10.28	8.42	1.86	0.05	0.14	0.12	0.08	0.01	0.07	0.05	0.60	0.24	0.20	0.13	0.15	0.18	0.06	0.04	0.28	0.08
80	7.53	6.11	1.42	0.03	0.10	0.09	0.06	0.01	0.06	0.04	0.50	0.21	0.15	0.11	0.12	0.15	0.03	0.03	0.20	0.06
85	5.36	4.33	1.04	0.02	0.07	0.06	0.04	0.01	0.05	0.03	0.41	0.19	0.11	0.10	0.09	0.07	0.01	0.02	0.12	0.05
90+	3.76	3.03	0.74	0.01	0.04	0.04	0.02	0.00	0.05	0.02	0.33	0.16	0.07	0.09	0.07	0.04	0.00	0.01	0.02	0.04
女性																				
40	44.95	40.23	4.71	0.11	0.22	0.16	0.30	0.02	0.31	0.13	1.31	0.41	0.64	0.22	0.26	0.65	0.37	0.10	0.87	0.24
45	40.15	35.60	4.55	0.11	0.21	0.16	0.29	0.02	0.29	0.13	1.31	0.41	0.64	0.22	0.24	0.61	0.33	0.09	0.85	0.24
50	35.43	31.06	4.37	0.10	0.19	0.15	0.28	0.02	0.28	0.12	1.30	0.41	0.63	0.22	0.23	0.55	0.28	0.08	0.84	0.23
55	30.82	26.66	4.16	0.10	0.18	0.14	0.27	0.02	0.26	0.12	1.28	0.41	0.61	0.22	0.21	0.49	0.23	0.07	0.81	0.21
60	26.29	22.41	3.88	0.09	0.16	0.13	0.24	0.02	0.23	0.11	1.24	0.41	0.58	0.22	0.19	0.42	0.18	0.07	0.77	0.20
65	21.89	18.37	3.52	0.07	0.14	0.11	0.21	0.01	0.21	0.10	1.10	0.41	0.54	0.21	0.17	0.35	0.14	0.06	0.71	0.18
70	17.67	14.61	3.06	0.06	0.12	0.10	0.17	0.01	0.19	0.09	1.10	0.40	0.47	0.20	0.14	0.27	0.09	0.05	0.62	0.17
75	13.71	11.18	2.53	0.04	0.09	0.08	0.13	0.01	0.16	0.08	0.98	0.39	0.39	0.18	0.12	0.19	0.05	0.04	0.47	0.15
80	10.18	8.20	1.98	0.03	0.07	0.06	0.09	0.01	0.14	0.06	0.83	0.36	0.29	0.16	0.13	0.12	0.02	0.03	0.31	0.10
85	7.26	5.78	1.47	0.02	0.05	0.04	0.06	0.01	0.12	0.04	0.69	0.33	0.21	0.14	0.07	0.08	0.01	0.02	0.18	0.10
90+	5.05	4.00	1.05	0.01	0.03	0.03	0.03	0.01	0.10	0.03	0.53	0.28	0.14	0.11	0.05	0.05	0.00	0.01	0.10	0.08
2002年																				
男性																				
40	39.64	36.33	3.31	0.11	0.24	0.20	0.20	0.01	0.25	0.10	0.77	0.26	0.32	0.15	0.23	0.53	0.30	0.08	0.44	0.15
45	34.97	31.77	3.20	0.11	0.23	0.20	0.20	0.01	0.23	0.09	0.77	0.26	0.32	0.15	0.22	0.50	0.28	0.07	0.43	0.14
50	30.42	27.35	3.06	0.10	0.23	0.20	0.19	0.01	0.20	0.09	0.76	0.26	0.31	0.15	0.21	0.47	0.26	0.07	0.42	0.13
55	26.07	23.16	2.91	0.09	0.23	0.20	0.18	0.01	0.18	0.09	0.75	0.26	0.30	0.14	0.20	0.42	0.23	0.06	0.41	0.12
60	21.93	19.19	2.73	0.09	0.22	0.19	0.16	0.01	0.15	0.08	0.73	0.26	0.29	0.14	0.19	0.37	0.19	0.05	0.40	0.11
65	17.96	15.48	2.49	0.08	0.20	0.18	0.14	0.01	0.12	0.08	0.69	0.25	0.26	0.14	0.18	0.32	0.15	0.05	0.37	0.10
70	14.32	12.13	2.18	0.06	0.18	0.16	0.11	0.01	0.10	0.07	0.63	0.24	0.23	0.13	0.17	0.26	0.11	0.05	0.33	0.09
75	11.07	9.25	1.82	0.05	0.14	0.13	0.08	0.01	0.08	0.06	0.56	0.23	0.19	0.12	0.15	0.19	0.07	0.04	0.27	0.08
80	8.25	6.82	1.44	0.03	0.10	0.09	0.06	0.01	0.07	0.05	0.47	0.21	0.14	0.10	0.13	0.14	0.05	0.03	0.20	0.07
85	5.97	4.88	1.09	0.02	0.07	0.06	0.04	0.01	0.06	0.04	0.38	0.18	0.10	0.09	0.10	0.10	0.03	0.02	0.13	0.06
90+	4.29	3.50	0.79	0.01	0.05	0.04	0.02	0.00	0.05	0.03	0.31	0.15	0.07	0.08	0.08	0.06	0.01	0.01	0.07	0.05
女性																				
40	46.12	41.58	4.54	0.12	0.21	0.15	0.30	0.02	0.33	0.15	1.17	0.39	0.57	0.19	0.25	0.63	0.37	0.09	0.84	0.24
45	41.31	36.93	4.38	0.11	0.20	0.15	0.29	0.02	0.31	0.14	1.17	0.39	0.57	0.19	0.23	0.58	0.33	0.08	0.83	0.23
50	36.58	32.37	4.21	0.11	0.18	0.14	0.28	0.02	0.29	0.14	1.17	0.39	0.56	0.19	0.21	0.53	0.29	0.07	0.81	0.23
55	31.95	27.94	4.01	0.10	0.17	0.13	0.27	0.01	0.27	0.13	1.15	0.39	0.55	0.19	0.20	0.47	0.24	0.07	0.79	0.22
60	27.40	23.64	3.76	0.09	0.15	0.12	0.25	0.01	0.24	0.13	1.12	0.39	0.52	0.19	0.18	0.41	0.20	0.06	0.75	0.21
65	22.96	19.52	3.43	0.08	0.13	0.11	0.22	0.01	0.22	0.12	1.08	0.39	0.49	0.18	0.16	0.34	0.15	0.05	0.70	0.21
70	18.69	15.66	3.03	0.06	0.11	0.09	0.18	0.01	0.19	0.11	1.01	0.38	0.43	0.17	0.14	0.27	0.09	0.04	0.62	0.18
75	14.67	12.12	2.54	0.04	0.09	0.07	0.13	0.01	0.17	0.10	0.91	0.37	0.36	0.16	0.12	0.20	0.06	0.03	0.48	0.16
80	11.02	9.00	2.02	0.03	0.07	0.06	0.09	0.01	0.15	0.08	0.78	0.35	0.28	0.15	0.10	0.14	0.03	0.03	0.33	0.16
85	7.94	6.41	1.53	0.02	0.05	0.04	0.06	0.01	0.13	0.06	0.64	0.32	0.19	0.13	0.08	0.10	0.02	0.02	0.20	0.12
90+	5.56	4.43	1.13	0.01	0.03	0.03	0.03	0.01	0.11	0.04	0.51	0.27	0.13	0.10	0.07	0.07	0.01	0.01	0.11	0.10

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

参考表 2. 平均余命, 平均健康期間および傷病分類別平均受療期間: 1999~2008年(つづき)

(2) 2005年, 2008年

年齢	平均余命	平均健康期間	平均受療期間	感染症及び 寄生虫症	新生物	(悪性)新生物	内分泌, 栄 養及び代謝 疾患並びに 免疫障害	血液及び造 血器の疾患	精神及び行 動の障害	神経系及び 感覚器の疾 患	循環器系の 疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心 疾患)	(心疾患(高血 圧性を除く))	呼吸器系の 疾患	消化器系の 疾患	(癌及び癌の 支持組織の疾 患)	皮膚及び皮 下組織の疾 患	筋骨格系及 び結合組織 の疾患	損傷及び中 毒
2005年																				
男性																				
40	39.82	36.46	3.37	0.11	0.25	0.21	0.21	0.01	0.25	0.11	0.75	0.24	0.33	0.14	0.23	0.53	0.32	0.09	0.47	0.16
45	35.14	31.90	3.24	0.10	0.25	0.21	0.20	0.01	0.23	0.10	0.75	0.24	0.33	0.14	0.22	0.49	0.29	0.08	0.46	0.14
50	30.59	27.49	3.11	0.10	0.24	0.21	0.19	0.01	0.21	0.10	0.74	0.24	0.32	0.14	0.21	0.45	0.26	0.08	0.45	0.13
55	26.21	23.26	2.95	0.09	0.24	0.21	0.18	0.01	0.18	0.10	0.73	0.24	0.31	0.14	0.20	0.41	0.23	0.07	0.44	0.12
60	22.06	19.28	2.77	0.08	0.23	0.20	0.17	0.01	0.15	0.09	0.70	0.24	0.29	0.13	0.19	0.36	0.19	0.07	0.42	0.11
65	18.11	15.56	2.55	0.08	0.21	0.19	0.14	0.01	0.12	0.09	0.67	0.24	0.27	0.13	0.18	0.31	0.16	0.06	0.40	0.10
70	14.38	12.14	2.24	0.06	0.19	0.17	0.12	0.01	0.10	0.08	0.61	0.22	0.24	0.12	0.17	0.25	0.11	0.05	0.37	0.09
75	11.07	9.20	1.87	0.05	0.15	0.13	0.09	0.01	0.08	0.07	0.53	0.21	0.19	0.11	0.16	0.19	0.07	0.05	0.30	0.08
80	8.23	6.78	1.46	0.03	0.11	0.10	0.06	0.01	0.06	0.06	0.45	0.19	0.15	0.10	0.14	0.12	0.04	0.03	0.22	0.07
85	5.93	4.84	1.09	0.02	0.07	0.07	0.04	0.00	0.06	0.05	0.36	0.16	0.10	0.08	0.11	0.08	0.02	0.03	0.14	0.06
90+	4.23	3.42	0.81	0.01	0.05	0.05	0.02	0.00	0.05	0.03	0.30	0.14	0.07	0.07	0.10	0.05	0.01	0.02	0.08	0.05
女性																				
40	46.35	41.72	4.63	0.12	0.21	0.16	0.30	0.02	0.32	0.17	1.11	0.35	0.57	0.17	0.26	0.68	0.43	0.10	0.86	0.25
45	41.54	37.09	4.46	0.11	0.20	0.15	0.29	0.02	0.30	0.17	1.11	0.35	0.57	0.17	0.24	0.62	0.38	0.09	0.85	0.24
50	36.81	32.54	4.27	0.10	0.19	0.14	0.29	0.02	0.28	0.16	1.11	0.35	0.56	0.17	0.22	0.56	0.34	0.08	0.83	0.23
55	32.17	28.11	4.06	0.10	0.17	0.14	0.27	0.01	0.26	0.16	1.09	0.35	0.55	0.17	0.21	0.50	0.29	0.08	0.80	0.22
60	27.62	23.81	3.81	0.09	0.15	0.12	0.25	0.01	0.24	0.15	1.06	0.35	0.52	0.17	0.19	0.44	0.24	0.07	0.77	0.21
65	23.16	19.67	3.48	0.08	0.14	0.11	0.22	0.01	0.21	0.14	1.02	0.34	0.49	0.16	0.17	0.36	0.18	0.06	0.72	0.20
70	18.85	15.77	3.09	0.07	0.12	0.09	0.18	0.01	0.19	0.13	0.95	0.34	0.44	0.16	0.15	0.29	0.13	0.05	0.64	0.18
75	14.80	12.24	2.56	0.05	0.09	0.07	0.14	0.01	0.16	0.12	0.85	0.32	0.36	0.15	0.13	0.21	0.07	0.04	0.50	0.17
80	11.11	9.11	2.00	0.03	0.06	0.05	0.09	0.01	0.14	0.10	0.73	0.31	0.27	0.14	0.11	0.14	0.04	0.03	0.34	0.12
85	7.97	6.47	1.50	0.02	0.04	0.04	0.06	0.01	0.12	0.08	0.60	0.28	0.19	0.12	0.09	0.09	0.02	0.02	0.20	0.12
90+	5.56	4.46	1.11	0.01	0.03	0.02	0.03	0.01	0.10	0.06	0.47	0.24	0.12	0.10	0.07	0.06	0.01	0.02	0.11	0.10
2008年																				
男性																				
40	40.49	37.41	3.08	0.09	0.24	0.21	0.20	0.01	0.24	0.11	0.69	0.21	0.31	0.13	0.21	0.51	0.33	0.09	0.44	0.16
45	35.79	32.81	2.98	0.08	0.24	0.21	0.19	0.01	0.22	0.11	0.68	0.21	0.31	0.13	0.20	0.48	0.30	0.08	0.43	0.15
50	31.21	28.34	2.87	0.08	0.23	0.21	0.18	0.01	0.20	0.10	0.67	0.21	0.30	0.13	0.19	0.45	0.28	0.08	0.42	0.14
55	26.79	24.05	2.74	0.07	0.23	0.21	0.17	0.01	0.17	0.10	0.66	0.21	0.29	0.13	0.18	0.41	0.25	0.07	0.41	0.13
60	22.58	19.99	2.59	0.07	0.22	0.20	0.16	0.01	0.15	0.09	0.64	0.21	0.28	0.13	0.17	0.37	0.21	0.07	0.39	0.12
65	18.60	16.21	2.40	0.06	0.20	0.18	0.14	0.01	0.12	0.09	0.61	0.20	0.25	0.12	0.17	0.31	0.18	0.06	0.37	0.10
70	14.84	12.71	2.13	0.05	0.18	0.16	0.11	0.01	0.09	0.09	0.56	0.19	0.22	0.11	0.16	0.26	0.13	0.05	0.34	0.09
75	11.40	9.61	1.79	0.04	0.14	0.13	0.08	0.01	0.07	0.08	0.48	0.18	0.18	0.10	0.15	0.19	0.08	0.04	0.28	0.08
80	8.49	7.06	1.42	0.03	0.10	0.10	0.06	0.01	0.06	0.07	0.40	0.16	0.14	0.09	0.13	0.13	0.05	0.03	0.21	0.07
85	6.13	5.06	1.08	0.02	0.07	0.07	0.04	0.01	0.05	0.05	0.33	0.14	0.10	0.08	0.11	0.09	0.03	0.02	0.13	0.06
90+	4.36	3.57	0.79	0.02	0.05	0.04	0.02	0.00	0.04	0.04	0.26	0.11	0.07	0.06	0.10	0.07	0.02	0.02	0.07	0.05
女性																				
40	46.89	42.69	4.20	0.10	0.21	0.16	0.27	0.02	0.30	0.17	0.96	0.29	0.50	0.15	0.23	0.66	0.44	0.11	0.79	0.26
45	42.08	38.03	4.06	0.10	0.20	0.15	0.26	0.02	0.28	0.17	0.96	0.29	0.50	0.15	0.21	0.61	0.40	0.10	0.78	0.25
50	37.34	33.43	3.91	0.09	0.18	0.15	0.26	0.01	0.26	0.16	0.95	0.29	0.49	0.15	0.20	0.56	0.36	0.09	0.76	0.24
55	32.69	28.94	3.75	0.08	0.17	0.14	0.25	0.01	0.24	0.16	0.94	0.29	0.48	0.15	0.18	0.50	0.31	0.08	0.73	0.23
60	28.12	24.57	3.54	0.08	0.15	0.13	0.23	0.01	0.22	0.15	0.92	0.29	0.46	0.15	0.17	0.44	0.26	0.07	0.70	0.22
65	23.64	20.37	3.27	0.07	0.13	0.11	0.20	0.01	0.20	0.15	0.88	0.28	0.43	0.14	0.15	0.37	0.20	0.06	0.65	0.21
70	19.29	16.38	2.91	0.06	0.11	0.09	0.17	0.01	0.17	0.14	0.82	0.28	0.39	0.14	0.14	0.29	0.15	0.05	0.58	0.19
75	15.18	12.72	2.46	0.04	0.09	0.08	0.13	0.01	0.15	0.13	0.74	0.27	0.33	0.13	0.12	0.22	0.10	0.04	0.46	0.17
80	11.43	9.47	1.96	0.03	0.06	0.06	0.09	0.01	0.12	0.11	0.64	0.25	0.26	0.12	0.10	0.15	0.06	0.03	0.31	0.17
85	8.21	6.74	1.47	0.02	0.04	0.04	0.06	0.01	0.10	0.09	0.52	0.23	0.18	0.11	0.09	0.10	0.04	0.02	0.19	0.12
90+	5.71	4.66	1.05	0.01	0.03	0.03	0.03	0.00	0.08	0.06	0.41	0.19	0.12	0.09	0.07	0.07	0.02	0.02	0.10	0.09

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

参考表3. 入院・外来別、傷病分類別平均受療期間：1999～2008年

(1) 入院：1999年、2002年

年齢	平均受療期間(入院)	感染症及び寄生虫症	新生物	(悪性)新生物	内分泌、栄養及び代謝疾患並びに免疫障害	血液及び造血器の疾患	精神及び行動の障害	神経系及び感覚器の疾患	循環器系の疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心疾患)	(心疾患(高血圧性を除く))	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	(骨及び骨の支持組織の疾患)	皮膚及び皮下組織の疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	損傷及び中毒
1999年																		
男性																		
40	0.90	0.03	0.13	0.11	0.03	0.00	0.19	0.04	0.23	0.16	0.01	0.05	0.06	0.06	0.00	0.00	0.03	0.06
45	0.88	0.03	0.13	0.11	0.03	0.00	0.17	0.03	0.23	0.16	0.01	0.05	0.06	0.06	0.00	0.00	0.03	0.06
50	0.84	0.02	0.13	0.11	0.03	0.00	0.15	0.03	0.23	0.16	0.01	0.05	0.06	0.05	0.00	0.00	0.03	0.06
55	0.81	0.02	0.13	0.11	0.03	0.00	0.13	0.03	0.23	0.16	0.01	0.05	0.06	0.05	0.00	0.00	0.03	0.05
60	0.77	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.11	0.03	0.22	0.16	0.01	0.04	0.06	0.05	0.00	0.00	0.03	0.05
65	0.72	0.02	0.11	0.10	0.02	0.00	0.08	0.03	0.22	0.15	0.01	0.04	0.06	0.04	0.00	0.00	0.02	0.04
70	0.66	0.02	0.10	0.09	0.02	0.00	0.06	0.03	0.21	0.15	0.01	0.04	0.06	0.04	0.00	0.00	0.02	0.04
75	0.59	0.02	0.08	0.07	0.02	0.00	0.05	0.02	0.20	0.14	0.01	0.04	0.06	0.03	0.00	0.00	0.02	0.04
80	0.51	0.01	0.06	0.05	0.01	0.00	0.04	0.02	0.19	0.13	0.01	0.04	0.06	0.03	0.00	0.00	0.02	0.03
85	0.43	0.01	0.04	0.04	0.01	0.00	0.04	0.02	0.18	0.12	0.01	0.04	0.05	0.02	0.00	0.00	0.02	0.03
90+	0.36	0.01	0.03	0.03	0.01	0.00	0.03	0.01	0.16	0.11	0.01	0.04	0.05	0.02	0.00	0.00	0.01	0.03
女性																		
40	1.20	0.02	0.11	0.09	0.05	0.01	0.21	0.06	0.40	0.27	0.04	0.08	0.05	0.06	0.00	0.01	0.08	0.11
45	1.19	0.02	0.10	0.08	0.05	0.01	0.20	0.05	0.40	0.27	0.04	0.08	0.05	0.06	0.00	0.01	0.08	0.11
50	1.17	0.02	0.10	0.08	0.04	0.01	0.19	0.05	0.40	0.28	0.04	0.08	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.11
55	1.14	0.02	0.09	0.08	0.04	0.01	0.18	0.05	0.40	0.28	0.04	0.08	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.11
60	1.11	0.02	0.09	0.07	0.04	0.01	0.16	0.05	0.40	0.28	0.04	0.08	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.11
65	1.07	0.02	0.08	0.07	0.04	0.01	0.15	0.05	0.41	0.28	0.04	0.08	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.11
70	1.03	0.02	0.07	0.06	0.04	0.01	0.13	0.05	0.41	0.28	0.04	0.08	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.11
75	0.97	0.02	0.06	0.05	0.04	0.01	0.11	0.04	0.40	0.28	0.04	0.08	0.05	0.04	0.00	0.01	0.06	0.10
80	0.89	0.01	0.04	0.04	0.03	0.00	0.10	0.04	0.39	0.27	0.04	0.08	0.04	0.03	0.00	0.00	0.06	0.09
85	0.78	0.01	0.03	0.03	0.03	0.00	0.09	0.03	0.37	0.25	0.04	0.08	0.04	0.03	0.00	0.00	0.05	0.08
90+	0.64	0.01	0.02	0.02	0.02	0.00	0.08	0.02	0.32	0.22	0.04	0.07	0.03	0.02	0.00	0.00	0.04	0.06
2002年																		
男性																		
40	0.89	0.02	0.13	0.11	0.03	0.00	0.19	0.04	0.23	0.16	0.01	0.04	0.06	0.05	0.00	0.01	0.03	0.06
45	0.87	0.02	0.13	0.11	0.03	0.00	0.17	0.04	0.23	0.16	0.01	0.04	0.06	0.05	0.00	0.01	0.03	0.06
50	0.85	0.02	0.13	0.11	0.02	0.00	0.16	0.04	0.23	0.16	0.01	0.04	0.06	0.05	0.00	0.00	0.03	0.05
55	0.82	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.14	0.04	0.23	0.17	0.01	0.04	0.06	0.05	0.00	0.00	0.03	0.05
60	0.78	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.12	0.04	0.23	0.16	0.01	0.04	0.06	0.04	0.00	0.00	0.03	0.05
65	0.73	0.02	0.11	0.10	0.02	0.00	0.09	0.04	0.22	0.16	0.01	0.04	0.07	0.04	0.00	0.00	0.02	0.05
70	0.67	0.02	0.10	0.09	0.02	0.00	0.07	0.03	0.22	0.16	0.01	0.04	0.07	0.04	0.00	0.00	0.02	0.04
75	0.62	0.02	0.08	0.07	0.02	0.00	0.06	0.03	0.21	0.15	0.01	0.04	0.07	0.03	0.00	0.00	0.02	0.04
80	0.56	0.01	0.06	0.05	0.01	0.00	0.05	0.03	0.20	0.15	0.01	0.04	0.07	0.03	0.00	0.00	0.02	0.04
85	0.49	0.01	0.04	0.04	0.01	0.00	0.05	0.02	0.19	0.13	0.01	0.04	0.06	0.02	0.00	0.00	0.02	0.04
90+	0.42	0.01	0.03	0.03	0.01	0.00	0.04	0.02	0.17	0.12	0.01	0.04	0.05	0.02	0.00	0.00	0.01	0.03
女性																		
40	1.21	0.02	0.10	0.08	0.04	0.01	0.22	0.07	0.38	0.28	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.12
45	1.19	0.02	0.10	0.08	0.04	0.01	0.21	0.07	0.39	0.28	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.12
50	1.17	0.02	0.09	0.08	0.04	0.01	0.20	0.07	0.39	0.28	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.12
55	1.15	0.02	0.09	0.08	0.04	0.01	0.19	0.07	0.39	0.28	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.12
60	1.13	0.02	0.08	0.07	0.04	0.01	0.18	0.07	0.39	0.29	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.08	0.12
65	1.09	0.02	0.07	0.06	0.04	0.01	0.16	0.06	0.39	0.29	0.02	0.07	0.05	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
70	1.05	0.02	0.07	0.06	0.03	0.01	0.14	0.06	0.39	0.29	0.02	0.07	0.05	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
75	1.00	0.01	0.05	0.05	0.03	0.00	0.13	0.06	0.39	0.29	0.02	0.07	0.05	0.04	0.00	0.01	0.06	0.11
80	0.93	0.01	0.04	0.04	0.03	0.00	0.12	0.05	0.38	0.28	0.02	0.07	0.05	0.04	0.00	0.01	0.06	0.11
85	0.83	0.01	0.03	0.03	0.02	0.00	0.10	0.04	0.36	0.26	0.02	0.07	0.05	0.03	0.00	0.01	0.05	0.10
90+	0.69	0.01	0.02	0.02	0.02	0.00	0.09	0.03	0.32	0.23	0.02	0.07	0.04	0.02	0.00	0.00	0.04	0.08

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

参考表3. 入院・外来別、傷病分類別平均受療期間：1999～2008年（つづき）

(2) 入院：2005年、2008年

年齢	平均受療期間(入院)																
	感染症及び 寄生虫	新生物	(悪性)新生物	内分泌、栄 養及び代謝 疾患並びに 免疫障害	血液及び造 血器の疾患	精神及び行 動の障害	神経系及び 感覚器の疾 患	循環器系の 疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心 疾患)	(心疾患(高血 圧性を除く))	呼吸器系の 疾患	消化器系の 疾患	(骨及び歯の 支持組織の疾 患)	皮膚及び皮 下組織の疾 患	筋骨格系及 び結合組織 の疾患	損傷及び中 毒
2005年																	
男性																	
40	0.86	0.02	0.13	0.11	0.02	0.00	0.18	0.05	0.21	0.15	0.04	0.07	0.05	0.00	0.01	0.03	0.06
45	0.84	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.17	0.05	0.21	0.16	0.04	0.07	0.05	0.00	0.01	0.03	0.06
50	0.82	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.15	0.05	0.21	0.16	0.04	0.07	0.05	0.00	0.01	0.03	0.05
55	0.79	0.02	0.12	0.11	0.02	0.00	0.14	0.04	0.21	0.16	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.03	0.05
60	0.76	0.02	0.12	0.10	0.02	0.00	0.12	0.04	0.21	0.15	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.02	0.05
65	0.72	0.02	0.11	0.10	0.02	0.00	0.09	0.04	0.21	0.15	0.04	0.07	0.04	0.00	0.00	0.02	0.05
70	0.66	0.02	0.10	0.09	0.02	0.00	0.07	0.04	0.20	0.15	0.04	0.07	0.04	0.00	0.00	0.02	0.04
75	0.61	0.01	0.08	0.07	0.02	0.00	0.06	0.04	0.19	0.14	0.04	0.07	0.03	0.00	0.00	0.02	0.04
80	0.55	0.01	0.06	0.05	0.01	0.00	0.05	0.03	0.18	0.13	0.04	0.07	0.03	0.00	0.00	0.02	0.04
85	0.49	0.01	0.04	0.04	0.01	0.00	0.04	0.03	0.17	0.12	0.04	0.07	0.02	0.00	0.00	0.02	0.04
90+	0.44	0.01	0.03	0.03	0.01	0.00	0.04	0.02	0.16	0.11	0.04	0.07	0.02	0.00	0.00	0.02	0.03
女性																	
40	1.16	0.02	0.10	0.08	0.03	0.01	0.21	0.08	0.35	0.25	0.07	0.06	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
45	1.14	0.02	0.09	0.08	0.03	0.01	0.20	0.08	0.35	0.26	0.07	0.06	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
50	1.13	0.02	0.09	0.08	0.03	0.00	0.19	0.08	0.35	0.26	0.07	0.06	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
55	1.11	0.02	0.08	0.07	0.03	0.00	0.18	0.08	0.35	0.26	0.07	0.06	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
60	1.08	0.02	0.08	0.07	0.03	0.00	0.17	0.08	0.35	0.26	0.07	0.06	0.05	0.00	0.01	0.07	0.12
65	1.05	0.02	0.07	0.06	0.03	0.00	0.15	0.08	0.35	0.26	0.07	0.06	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
70	1.01	0.02	0.06	0.05	0.03	0.00	0.13	0.07	0.35	0.26	0.07	0.06	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
75	0.97	0.01	0.05	0.05	0.03	0.00	0.12	0.07	0.35	0.26	0.07	0.06	0.04	0.00	0.01	0.06	0.12
80	0.90	0.01	0.04	0.04	0.03	0.00	0.10	0.06	0.34	0.25	0.07	0.06	0.04	0.00	0.01	0.05	0.11
85	0.81	0.01	0.03	0.03	0.02	0.00	0.09	0.05	0.32	0.23	0.07	0.06	0.03	0.00	0.01	0.05	0.10
90+	0.69	0.01	0.02	0.02	0.02	0.00	0.08	0.04	0.29	0.20	0.06	0.05	0.02	0.00	0.00	0.04	0.08
2008年																	
男性																	
40	0.81	0.02	0.11	0.11	0.02	0.00	0.16	0.05	0.18	0.13	0.04	0.07	0.05	0.00	0.01	0.03	0.06
45	0.79	0.02	0.11	0.11	0.02	0.00	0.15	0.05	0.18	0.13	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.03	0.06
50	0.77	0.02	0.11	0.11	0.02	0.00	0.14	0.05	0.18	0.13	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.03	0.05
55	0.75	0.02	0.11	0.10	0.02	0.00	0.13	0.05	0.18	0.13	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.03	0.05
60	0.72	0.01	0.11	0.10	0.02	0.00	0.11	0.05	0.18	0.13	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.03	0.05
65	0.69	0.01	0.10	0.09	0.02	0.00	0.09	0.05	0.17	0.12	0.04	0.07	0.04	0.00	0.01	0.02	0.05
70	0.64	0.01	0.09	0.08	0.02	0.00	0.07	0.04	0.17	0.12	0.04	0.08	0.03	0.00	0.01	0.02	0.05
75	0.58	0.01	0.07	0.07	0.01	0.00	0.05	0.04	0.16	0.11	0.04	0.08	0.03	0.00	0.01	0.02	0.04
80	0.52	0.01	0.05	0.05	0.01	0.00	0.04	0.04	0.15	0.11	0.04	0.08	0.03	0.00	0.01	0.02	0.04
85	0.46	0.01	0.04	0.04	0.01	0.00	0.03	0.03	0.14	0.09	0.03	0.08	0.02	0.00	0.00	0.02	0.04
90+	0.40	0.01	0.03	0.03	0.01	0.00	0.03	0.02	0.13	0.08	0.03	0.07	0.02	0.00	0.00	0.02	0.03
女性																	
40	1.11	0.02	0.09	0.07	0.03	0.00	0.19	0.09	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
45	1.09	0.02	0.08	0.07	0.03	0.00	0.18	0.09	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
50	1.08	0.02	0.08	0.07	0.03	0.00	0.17	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.07	0.12
55	1.06	0.02	0.08	0.07	0.03	0.00	0.16	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.06	0.12
60	1.04	0.01	0.07	0.06	0.03	0.00	0.15	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.06	0.12
65	1.02	0.01	0.07	0.06	0.03	0.00	0.13	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.06	0.12
70	0.98	0.01	0.06	0.05	0.03	0.00	0.12	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.06	0.12
75	0.92	0.01	0.05	0.04	0.03	0.00	0.10	0.08	0.28	0.20	0.06	0.06	0.04	0.00	0.01	0.05	0.11
80	0.84	0.01	0.04	0.03	0.02	0.00	0.09	0.07	0.27	0.19	0.06	0.06	0.03	0.00	0.01	0.05	0.11
85	0.74	0.01	0.03	0.03	0.02	0.00	0.07	0.06	0.26	0.18	0.06	0.06	0.03	0.00	0.01	0.04	0.10
90+	0.63	0.01	0.02	0.02	0.02	0.00	0.06	0.04	0.23	0.16	0.06	0.06	0.02	0.00	0.01	0.03	0.08

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

参考表3. 入院・外来別、傷病分類別平均受療期間：1999～2008年（つづき）

(3) 外来：1999年，2002年

年齢	平均受療期間(外来)																
	感染症及び 寄生虫症	新生物	(悪性)新生物	内分泌、栄 養及び代謝 疾患並びに 免疫障害	血液及び造 血器の疾患	精神及び行 動の障害	神経系及び 感覚器の疾 患	循環器系の 疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心 疾患)	(心疾患(高血 圧性を除く))	呼吸器系の 疾患	消化器系の 疾患	(骨及び骨の 支持組織の疾 患)	皮膚及び皮 下組織の疾 患	筋骨格系及 び結合組織 の疾患	損傷及び中 毒
1999年																	
男性																	
40	2.61	0.09	0.11	0.09	0.17	0.01	0.06	0.05	0.63	0.12	0.36	0.19	0.51	0.30	0.09	0.43	0.11
45	2.50	0.09	0.11	0.09	0.17	0.01	0.05	0.05	0.63	0.12	0.35	0.18	0.47	0.27	0.08	0.43	0.10
50	2.39	0.08	0.11	0.09	0.16	0.01	0.04	0.05	0.62	0.12	0.35	0.17	0.43	0.24	0.08	0.42	0.09
55	2.27	0.08	0.11	0.09	0.15	0.01	0.04	0.05	0.61	0.12	0.33	0.16	0.38	0.20	0.07	0.41	0.08
60	2.10	0.07	0.10	0.08	0.13	0.01	0.03	0.04	0.58	0.12	0.31	0.15	0.33	0.17	0.07	0.39	0.07
65	1.88	0.06	0.10	0.08	0.11	0.01	0.03	0.04	0.54	0.12	0.29	0.13	0.27	0.13	0.06	0.37	0.06
70	1.60	0.04	0.08	0.07	0.09	0.00	0.03	0.03	0.49	0.11	0.25	0.10	0.22	0.10	0.05	0.33	0.05
75	1.27	0.03	0.06	0.05	0.06	0.00	0.02	0.03	0.40	0.10	0.19	0.09	0.15	0.06	0.04	0.26	0.04
80	0.91	0.02	0.04	0.04	0.04	0.00	0.02	0.02	0.31	0.08	0.14	0.07	0.09	0.03	0.03	0.18	0.03
85	0.60	0.01	0.03	0.02	0.03	0.00	0.02	0.01	0.23	0.06	0.10	0.06	0.04	0.05	0.01	0.11	0.02
90+	0.38	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.02	0.01	0.17	0.05	0.06	0.02	0.02	0.00	0.01	0.06	0.01
女性																	
40	3.51	0.09	0.11	0.08	0.25	0.02	0.10	0.07	0.91	0.14	0.61	0.21	0.60	0.37	0.09	0.78	0.13
45	3.36	0.09	0.11	0.07	0.25	0.02	0.09	0.07	0.91	0.14	0.60	0.19	0.55	0.33	0.09	0.77	0.12
50	3.20	0.08	0.10	0.07	0.24	0.01	0.08	0.06	0.90	0.14	0.60	0.18	0.50	0.28	0.08	0.75	0.11
55	3.02	0.08	0.09	0.06	0.22	0.01	0.08	0.06	0.88	0.14	0.58	0.16	0.43	0.23	0.07	0.73	0.10
60	2.77	0.07	0.08	0.06	0.20	0.01	0.07	0.06	0.84	0.14	0.54	0.14	0.37	0.18	0.06	0.69	0.09
65	2.44	0.06	0.07	0.05	0.17	0.01	0.06	0.05	0.78	0.13	0.50	0.12	0.30	0.14	0.05	0.64	0.08
70	2.03	0.04	0.05	0.04	0.13	0.01	0.06	0.04	0.70	0.13	0.43	0.09	0.22	0.09	0.04	0.55	0.06
75	1.56	0.03	0.04	0.03	0.09	0.01	0.05	0.03	0.58	0.11	0.35	0.07	0.14	0.05	0.03	0.41	0.05
80	1.09	0.02	0.02	0.02	0.05	0.01	0.04	0.02	0.44	0.10	0.25	0.04	0.09	0.02	0.02	0.26	0.03
85	0.69	0.01	0.01	0.01	0.03	0.00	0.04	0.01	0.32	0.08	0.17	0.03	0.05	0.01	0.01	0.14	0.02
90+	0.41	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.06	0.10	0.02	0.02	0.00	0.01	0.06	0.01
2002年																	
男性																	
40	2.42	0.09	0.11	0.09	0.18	0.01	0.06	0.06	0.54	0.10	0.32	0.17	0.48	0.30	0.07	0.41	0.10
45	2.32	0.08	0.11	0.09	0.17	0.01	0.05	0.05	0.54	0.10	0.31	0.16	0.45	0.28	0.07	0.40	0.09
50	2.22	0.08	0.11	0.09	0.16	0.01	0.05	0.05	0.53	0.10	0.31	0.15	0.42	0.26	0.06	0.39	0.08
55	2.10	0.07	0.10	0.09	0.15	0.01	0.04	0.05	0.52	0.10	0.30	0.14	0.38	0.23	0.06	0.38	0.07
60	1.95	0.07	0.10	0.08	0.14	0.01	0.03	0.05	0.50	0.10	0.28	0.13	0.33	0.19	0.05	0.37	0.06
65	1.76	0.06	0.09	0.08	0.12	0.01	0.03	0.04	0.47	0.09	0.26	0.12	0.28	0.15	0.05	0.35	0.05
70	1.51	0.04	0.08	0.07	0.09	0.00	0.02	0.04	0.42	0.09	0.22	0.10	0.22	0.11	0.04	0.31	0.04
75	1.21	0.03	0.06	0.05	0.07	0.00	0.02	0.03	0.35	0.07	0.18	0.08	0.16	0.07	0.03	0.25	0.04
80	0.88	0.02	0.04	0.04	0.04	0.00	0.01	0.02	0.27	0.06	0.14	0.06	0.11	0.05	0.03	0.18	0.03
85	0.59	0.01	0.03	0.03	0.02	0.00	0.01	0.02	0.20	0.05	0.10	0.05	0.04	0.08	0.02	0.11	0.02
90+	0.37	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.14	0.03	0.06	0.03	0.04	0.01	0.01	0.06	0.01
女性																	
40	3.34	0.10	0.11	0.07	0.26	0.02	0.10	0.08	0.79	0.11	0.55	0.19	0.58	0.37	0.08	0.76	0.12
45	3.19	0.09	0.10	0.07	0.25	0.01	0.09	0.07	0.79	0.11	0.55	0.17	0.53	0.33	0.07	0.75	0.11
50	3.03	0.09	0.09	0.06	0.25	0.01	0.08	0.07	0.78	0.11	0.54	0.16	0.48	0.29	0.07	0.73	0.11
55	2.86	0.08	0.09	0.06	0.23	0.01	0.08	0.07	0.76	0.10	0.53	0.15	0.42	0.24	0.06	0.71	0.10
60	2.63	0.07	0.07	0.05	0.21	0.01	0.07	0.06	0.73	0.10	0.50	0.13	0.36	0.20	0.05	0.68	0.09
65	2.34	0.06	0.06	0.05	0.18	0.01	0.06	0.05	0.69	0.10	0.46	0.11	0.30	0.15	0.04	0.63	0.07
70	1.97	0.05	0.05	0.04	0.14	0.01	0.05	0.05	0.62	0.10	0.41	0.09	0.23	0.09	0.04	0.54	0.06
75	1.54	0.03	0.03	0.03	0.10	0.01	0.04	0.04	0.52	0.09	0.33	0.07	0.16	0.06	0.03	0.41	0.05
80	1.09	0.02	0.02	0.02	0.06	0.00	0.03	0.03	0.40	0.07	0.25	0.05	0.10	0.03	0.02	0.27	0.04
85	0.71	0.01	0.01	0.01	0.04	0.00	0.03	0.02	0.29	0.06	0.17	0.03	0.07	0.02	0.01	0.15	0.03
90+	0.44	0.00	0.01	0.01	0.02	0.00	0.02	0.01	0.19	0.04	0.10	0.02	0.04	0.01	0.01	0.07	0.02

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

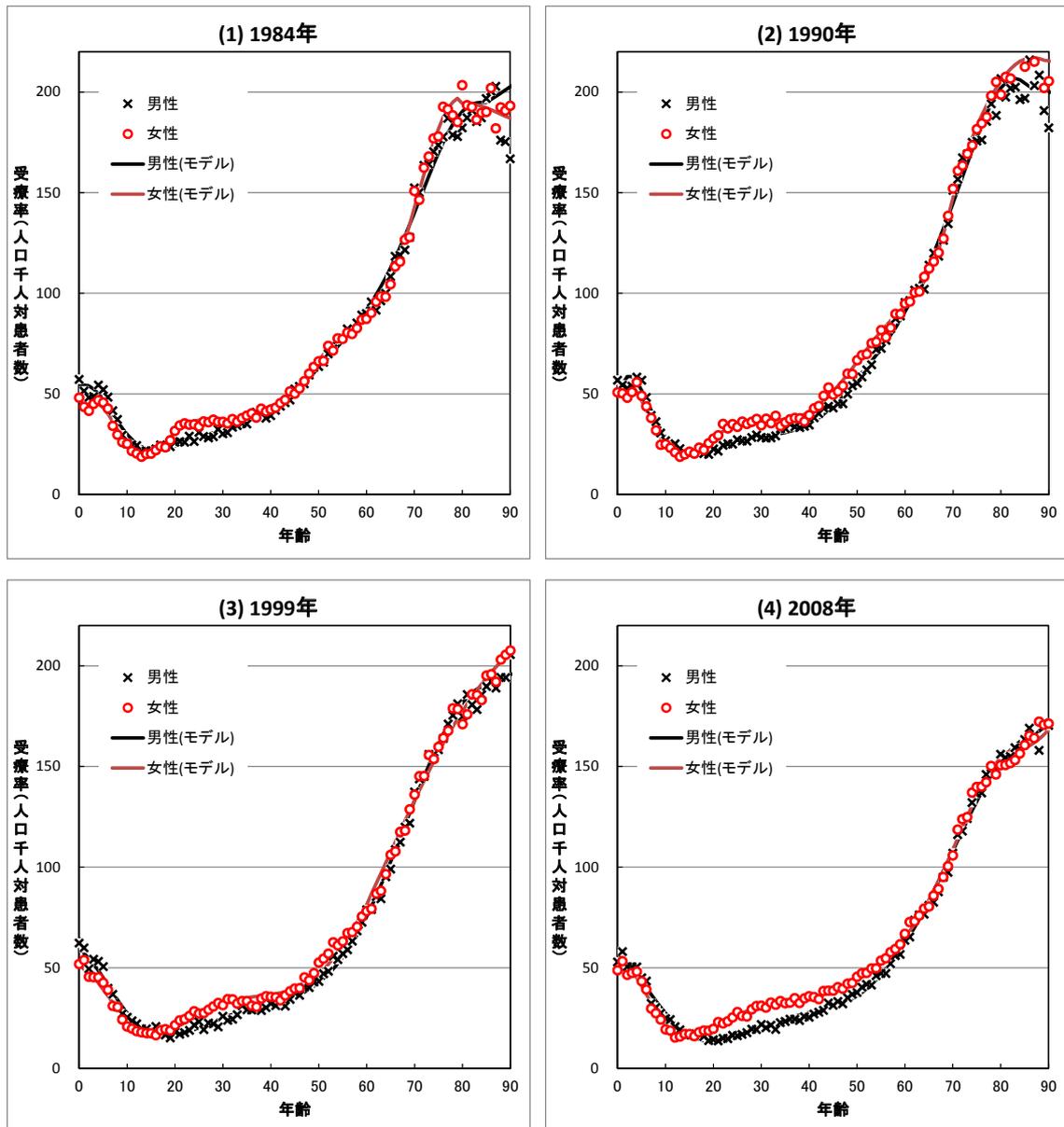
参考表3. 入院・外来別、傷病分類別平均受療期間：1999～2008年（つづき）

(4) 外来：2005年、2008年

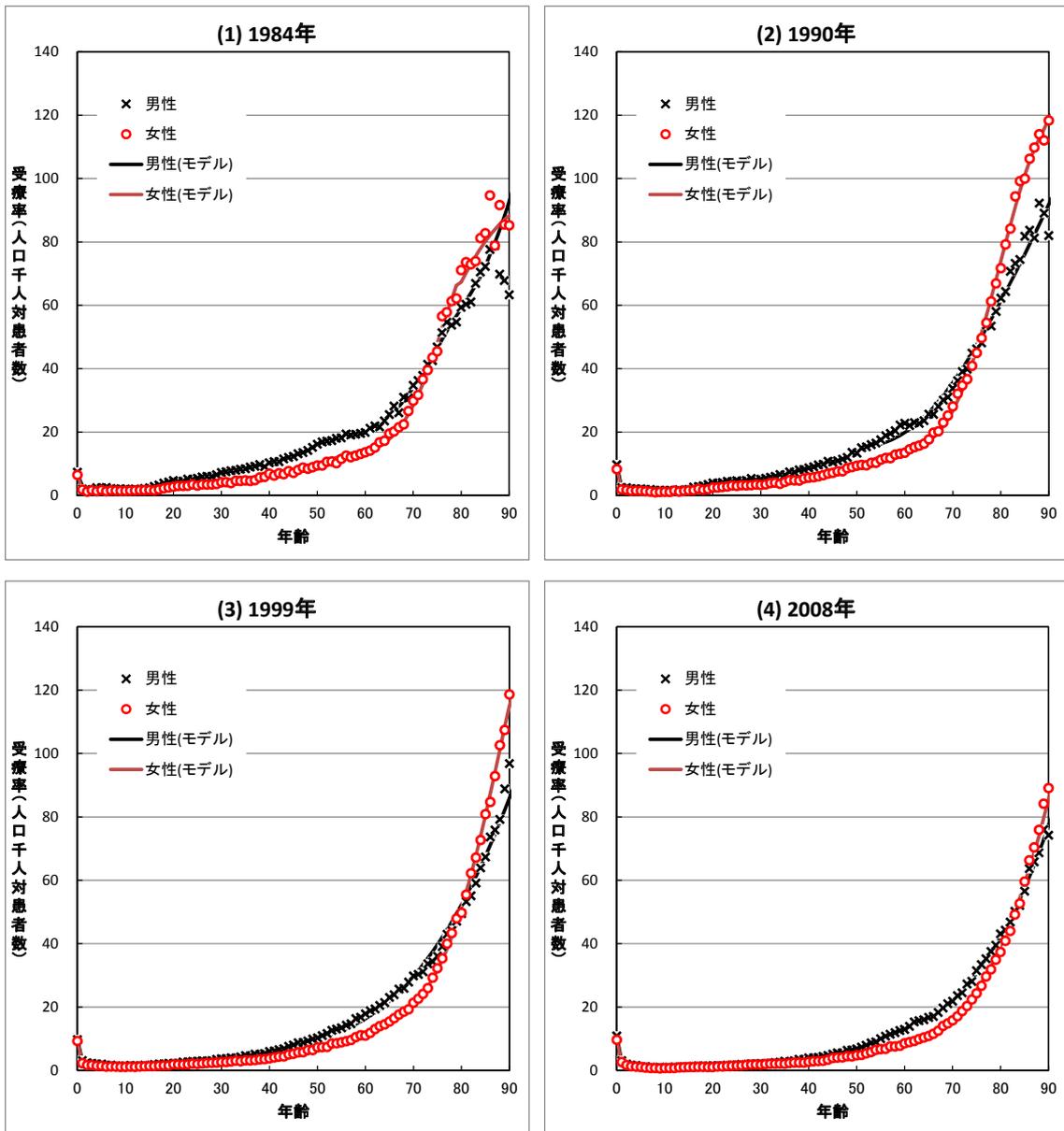
年齢	平均受療期間(外来)																
	感染症及び 寄生虫症	新生物	(悪性新生物)	内分泌、栄 養及び代謝 疾患並びに 免疫障害	血液及び造 血器の疾患	精神及び行 動の障害	神経系及び 感覚器の疾 患	循環器系の 疾患	(脳血管疾患)	(高血圧性心 疾患)	(心疾患(高血 圧性を除く))	呼吸器系の 疾患	消化器系の 疾患	(骨及び歯の 支持組織の疾 患)	皮膚及び皮 下組織の疾 患	筋骨格系及 び結合組織 の疾患	損傷及び中 毒
2005年																	
男性																	
40	2.51	0.09	0.12	0.10	0.19	0.01	0.07	0.06	0.54	0.09	0.32	0.17	0.48	0.32	0.08	0.44	0.10
45	2.40	0.09	0.12	0.10	0.18	0.01	0.06	0.06	0.53	0.09	0.32	0.15	0.44	0.29	0.08	0.43	0.09
50	2.28	0.08	0.12	0.10	0.17	0.01	0.05	0.06	0.53	0.09	0.32	0.14	0.41	0.26	0.07	0.42	0.08
55	2.16	0.07	0.12	0.10	0.16	0.01	0.04	0.05	0.51	0.09	0.31	0.13	0.36	0.23	0.07	0.41	0.07
60	2.01	0.07	0.11	0.09	0.15	0.01	0.04	0.05	0.49	0.09	0.29	0.12	0.32	0.19	0.06	0.40	0.06
65	1.83	0.06	0.10	0.09	0.13	0.01	0.03	0.05	0.46	0.08	0.27	0.12	0.27	0.16	0.06	0.38	0.05
70	1.58	0.05	0.09	0.08	0.10	0.00	0.02	0.04	0.41	0.08	0.23	0.10	0.21	0.11	0.05	0.35	0.04
75	1.26	0.03	0.07	0.06	0.07	0.00	0.02	0.04	0.34	0.07	0.19	0.08	0.10	0.07	0.04	0.28	0.04
80	0.90	0.02	0.05	0.04	0.04	0.00	0.02	0.03	0.26	0.05	0.14	0.06	0.10	0.04	0.03	0.20	0.03
85	0.59	0.01	0.03	0.03	0.02	0.00	0.01	0.02	0.19	0.04	0.10	0.04	0.06	0.02	0.02	0.13	0.02
90+	0.37	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00	0.01	0.01	0.14	0.03	0.07	0.03	0.03	0.01	0.02	0.06	0.01
女性																	
40	3.47	0.10	0.12	0.08	0.26	0.02	0.11	0.09	0.77	0.09	0.55	0.20	0.63	0.43	0.10	0.79	0.13
45	3.31	0.10	0.11	0.07	0.26	0.01	0.10	0.09	0.76	0.09	0.55	0.18	0.57	0.38	0.09	0.78	0.12
50	3.14	0.09	0.10	0.07	0.25	0.01	0.09	0.08	0.76	0.09	0.54	0.16	0.51	0.34	0.08	0.76	0.11
55	2.95	0.09	0.09	0.06	0.24	0.01	0.08	0.08	0.74	0.09	0.53	0.15	0.46	0.29	0.07	0.73	0.10
60	2.73	0.08	0.08	0.06	0.22	0.01	0.07	0.07	0.71	0.09	0.50	0.13	0.40	0.24	0.06	0.70	0.09
65	2.44	0.07	0.06	0.05	0.19	0.01	0.06	0.06	0.67	0.08	0.47	0.11	0.32	0.18	0.05	0.65	0.08
70	2.06	0.05	0.05	0.04	0.15	0.01	0.05	0.06	0.60	0.08	0.42	0.09	0.25	0.13	0.04	0.58	0.06
75	1.59	0.04	0.04	0.03	0.11	0.01	0.04	0.05	0.50	0.07	0.34	0.07	0.17	0.07	0.03	0.44	0.05
80	1.10	0.02	0.02	0.02	0.07	0.00	0.03	0.04	0.39	0.06	0.25	0.07	0.10	0.04	0.02	0.28	0.04
85	0.69	0.01	0.01	0.01	0.04	0.00	0.02	0.03	0.27	0.04	0.17	0.05	0.06	0.02	0.02	0.15	0.02
90+	0.42	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.02	0.02	0.18	0.03	0.11	0.04	0.03	0.01	0.01	0.07	0.02
2008年																	
男性																	
40	2.27	0.07	0.12	0.11	0.17	0.01	0.08	0.06	0.51	0.08	0.31	0.14	0.46	0.33	0.08	0.42	0.10
45	2.19	0.07	0.12	0.11	0.17	0.01	0.07	0.06	0.50	0.08	0.30	0.13	0.43	0.30	0.07	0.41	0.09
50	2.10	0.06	0.12	0.10	0.16	0.01	0.06	0.05	0.48	0.08	0.30	0.12	0.40	0.28	0.07	0.40	0.08
55	1.99	0.06	0.12	0.10	0.15	0.00	0.05	0.05	0.48	0.08	0.29	0.11	0.36	0.25	0.06	0.38	0.07
60	1.87	0.05	0.11	0.10	0.14	0.00	0.04	0.05	0.46	0.08	0.27	0.10	0.33	0.21	0.06	0.37	0.07
65	1.71	0.05	0.10	0.09	0.12	0.00	0.03	0.04	0.43	0.08	0.25	0.09	0.28	0.18	0.05	0.35	0.06
70	1.49	0.04	0.09	0.08	0.10	0.00	0.02	0.04	0.39	0.07	0.22	0.08	0.22	0.13	0.05	0.32	0.05
75	1.21	0.03	0.07	0.07	0.07	0.00	0.02	0.03	0.32	0.06	0.18	0.07	0.16	0.08	0.04	0.26	0.04
80	0.90	0.02	0.05	0.05	0.04	0.00	0.01	0.03	0.25	0.05	0.14	0.05	0.10	0.05	0.03	0.19	0.03
85	0.62	0.01	0.03	0.03	0.03	0.00	0.01	0.02	0.19	0.04	0.10	0.04	0.07	0.03	0.02	0.11	0.02
90+	0.39	0.01	0.02	0.02	0.02	0.00	0.01	0.01	0.13	0.03	0.07	0.02	0.06	0.02	0.01	0.06	0.01
女性																	
40	3.09	0.08	0.12	0.08	0.24	0.01	0.12	0.08	0.68	0.09	0.49	0.17	0.61	0.44	0.10	0.73	0.14
45	2.96	0.08	0.11	0.08	0.23	0.01	0.10	0.08	0.68	0.09	0.48	0.15	0.56	0.40	0.09	0.71	0.13
50	2.83	0.07	0.10	0.08	0.23	0.01	0.09	0.08	0.67	0.09	0.48	0.13	0.51	0.36	0.08	0.70	0.12
55	2.68	0.07	0.09	0.07	0.22	0.01	0.08	0.07	0.66	0.09	0.47	0.12	0.46	0.31	0.07	0.67	0.11
60	2.50	0.06	0.08	0.06	0.20	0.01	0.07	0.07	0.64	0.09	0.45	0.11	0.40	0.26	0.06	0.64	0.10
65	2.25	0.05	0.07	0.05	0.17	0.01	0.06	0.07	0.60	0.08	0.42	0.08	0.33	0.20	0.05	0.59	0.09
70	1.93	0.04	0.05	0.04	0.14	0.00	0.05	0.06	0.54	0.08	0.37	0.08	0.25	0.15	0.05	0.52	0.07
75	1.54	0.03	0.04	0.03	0.10	0.00	0.04	0.05	0.46	0.07	0.31	0.07	0.18	0.10	0.03	0.40	0.06
80	1.12	0.02	0.03	0.02	0.07	0.00	0.04	0.04	0.37	0.06	0.24	0.06	0.12	0.06	0.02	0.26	0.04
85	0.73	0.01	0.02	0.01	0.04	0.00	0.03	0.03	0.26	0.05	0.17	0.05	0.07	0.04	0.02	0.15	0.03
90+	0.42	0.00	0.01	0.01	0.02	0.00	0.02	0.02	0.17	0.04	0.10	0.04	0.05	0.02	0.01	0.07	0.02

厚生労働省『簡易生命表』および『患者調査』に基づき算出。

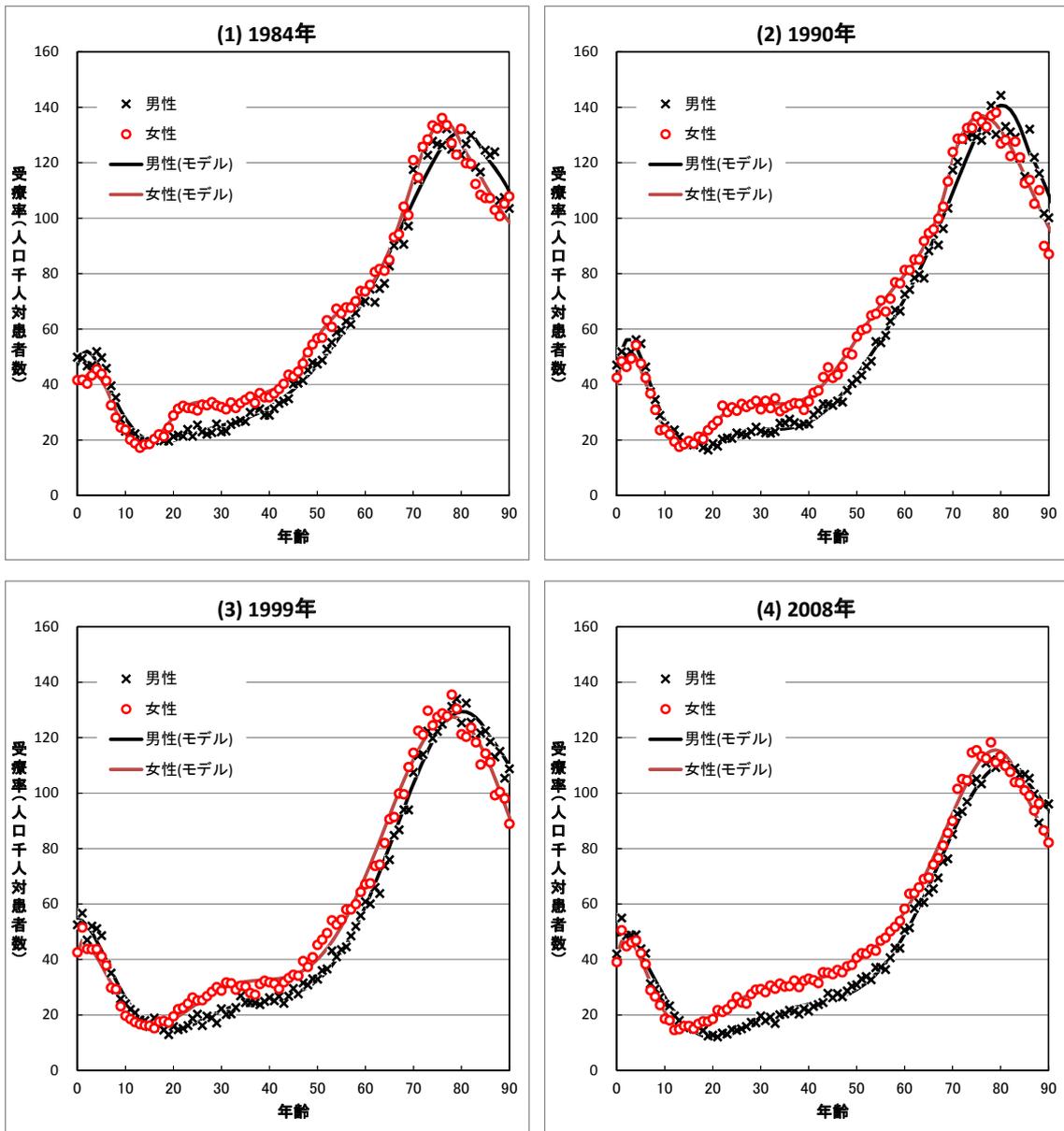
参考図 1. 男女・年齢別受療率の数値モデルならびに観察値：総数（入院＋外来）



参考図2. 男女・年齢別受療率の数値モデルならびに観察値：入院



参考図3. 男女・年齢別受療率の数値モデルならびに観察値：外来



[参考文献]

- Bongaarts, John (2006) “How long will we live?”, *Population and Development Review*, Vol.32, No.4, pp.605-628.
- Fries, James F. (1980) “Aging, Natural Death, and the Compression of Morbidity”, *New England Journal of Medicine*, Vol. 303, pp.130-135.
- Oeppen, Jim and James W. Vaupel (2002) “Broken limits to life expectancy”, *Science*, Vol.296, No.5570, pp.1029-1031.
- Olshansky, S. Jay, Bruce A. Carnes, Richard G. Rogers and Len Smith (1998) “Emerging infectious diseases: the fifth stage of the epidemiologic transition?”, *World Health Statistics Quarterly*, Vol.51. No.2/3/4, pp.207-217.
- Sullivan, D.F. (1971) “A single index of mortality and morbidity”, *HSMHA Health Reports*, Vol. 86, No. 4, pp.347-354.
- United Nations, (2011), *World Population Prospects: The 2010 Revision*, United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division.
- Wilmoth, John R. (1997) “In search of limits”, in Kenneth W. Wachter and Caleb E. Finch (eds.) *Between Zeus and the Salmon*, National Academy Press: Washington, D.C. , pp.38-64.
- ウィルモス, ジョン (2010) 「人類の寿命伸長：過去・現在・未来 (石井太訳)」 『人口問題研究』 第 66 卷第 3 号, pp.32-39.
- 小泉明 (1985) 「人口と寿命は何によって定まるか」 小泉明 (編) 『人口と寿命』 東京大学出版会, pp.1-33.
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2012) 『日本の将来推計人口 (平成 24 年 1 月推計)』 人口問題研究資料第 326 号, 国立社会保障・人口問題研究所.
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2013) 『人口統計資料集 2013』 人口問題研究資料第 328 号, 国立社会保障・人口問題研究所.
- 齋藤安彦 (2001) 「健康状態別余命の年次推移：1992 年・1995 年・1998 年」 『人口問題研究』 Vol. 57, No. 4, pp.31-50.
- 鈴木隆雄 (2012) 『超高齢社会の基礎知識』 講談社現代新書.
- 高橋重郷・別府志海 (2012) 「人口高齢化と健康構造の変化」 『わが国の長寿化の要因と社会・経済に与える影響に関する人口学的研究 (第 1 報告書)』 (所内研究報告 第 42 号), 国立社会保障・人口問題研究所, pp. 43-60.
- 橋本修二 (編) (2012) 厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」 (研究代表者 橋本修二) .
- 堀内四郎 (2001) 「死亡パターンの歴史的変遷」 『人口問題研究』 第57巻第 4 号, pp.3-30.
- 山口扶弥・梯正之 (2001) 「高齢者の平均自立期間および要介護期間に関連する諸要因の分析」 『人口問題研究』 Vol. 57, No. 4, pp.51-67.